

# 第 21 回 幹 事 会

平成 18 年 7 月 26 日

日 本 学 術 会 議

## 第 2 1 回幹事会議事次第

日 時 平成 1 8 年 7 月 2 6 日 (水) 1 6 : 0 0 ~

### 議 題 I 非公開審議事項

#### 1 モンゴル関係

- ・国際委員会日本・モンゴル二国間学術交流派遣実施計画 (提案 2)
- ・ " 学術交流分科会委員候補者の決定 (提案 3)

#### 2 その他委員会関係

- ・国際委員会国際会議主催等検討分科会各小分科会委員候補者の決定 (提案 4)
- ・分野別委員会の候補者の決定 (提案 6)
- ・地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会委員候補者の決定 (提案 8)
- ・子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会候補者の決定 (提案 10)
- ・研究評価の在り方検討委員会委員候補者の決定 (提案 11)
- ・ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会委員候補者の決定 (提案 12)

#### 3 連携会員関係

- ・連携会員候補者の決定 (定年により退任する会員関係) (提案 13)
- ・第 2 次連携会員候補者の決定 (提案 14)

#### 4 外部推薦依頼への回答

- ・WOLF 賞受賞候補者の推薦 (提案 15)
- ・委員候補者の推薦 (提案 16)

#### 5 その他

「会員による郵送投票」に付する会長候補者の推薦リスト (候補者一覧) の報告  
(参考 2)

### II 各部からの審議状況報告

### III 前回幹事会以降の諸報告

### IV 審議事項

- ・国際委員会運営・設置要綱の一部改正 (提案 1)
- ・分野別委員会運営要綱の一部改正 (提案 5)
- ・地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会運営要綱の一部改正 (提案 7)
- ・子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会設置要綱の一部改正 (提案 9)

- 1 第149回総会日程（案）（提案17）
- 2 日本学術会議協力学術研究団体規程の一部改正（提案18）
- 3 日本学術会議協力学術研究団体の指定（提案19）
- 4 代表派遣関係
  - ・ 平成18年9月分（提案20）
  - ・ 変更（提案21）
- 5 第13回ウ・タント記念講演（提案22）
- 6 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2006  
ーグローバル・イノベーション・エコシステムーの開催（提案23）
- 7 委員会主催シンポジウム等
  - ・ 「子どもを元気にする環境とはー政策の現状と評価ー」（提案24）
  - ・ 「第14回かがわけん科学体験フェスティバル」（提案25）
- 8 国内会議の後援（提案26）
- 9 国際会議の後援（提案27）

## V その他

# 配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第18回、19回、20回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

資料 7 次回以降の日程について

参考 1 「文明史的転換期対応への国家戦略」の送付について

参考 2 「会員による郵送投票」に付する会長候補者の推薦リスト（候補者一覧）の報告

参考 3 日本学術会議における今後の予定

### 第 2 1 回 幹事会（7 月 2 6 日）出席者一覧

|     |         |
|-----|---------|
| 会 長 | 黒 川 清   |
| 副会長 | 浅 島 誠   |
| 副会長 | 大 垣 眞一郎 |
| 副会長 | 石 倉 洋 子 |

|        |         |
|--------|---------|
| 第一部 部長 | 広 渡 清 吾 |
| 副部長    | 佐 藤 学   |
| 幹事     | 江 原 由美子 |
| 幹事     | 鈴 村 興太郎 |

|        |         |
|--------|---------|
| 第二部 部長 | 金 澤 一 郎 |
| 副部長    | 唐 木 英 明 |
| 幹事     | 廣 橋 説 雄 |
| 幹事     | 鷺 谷 いづみ |

|        |         |
|--------|---------|
| 第三部 部長 | 海 部 宣 男 |
| 副部長    | 土 居 範 久 |
| 幹事     | 河 野 長   |
| 幹事     | 小 林 敏 雄 |

---

|     |         |
|-----|---------|
| 事務局 | 西ヶ廣 局 長 |
|-----|---------|

## 諸 報 告 事 項

|     |                  |       |
|-----|------------------|-------|
| 第 1 | 前回幹事会以降の経過報告     | P. 1  |
| 1   | 会長代理の指名          | P. 1  |
| 2   | 審議付託等            | P. 1  |
| 3   | 賞等の推薦            | P. 2  |
| 4   | 国際会議の開催          | P. 2  |
| 5   | 日本学術会議主催公開講演会の開催 | P. 2  |
| 6   | 連携会員の辞職          | P. 2  |
| 7   | 委員会委員の辞任         | P. 3  |
| 8   | 人事               | P. 3  |
| 第 2 | 各部・各委員会等報告       | P. 4  |
| 1   | 部会の開催とその議題       | P. 4  |
| 2   | 幹事会附置委員会の開催とその議題 | P. 4  |
| 3   | 機能別委員会の開催とその議題   | P. 4  |
| 4   | 分野別委員会の開催とその議題   | P. 5  |
| 5   | 課題別委員会の開催とその議題   | P. 9  |
| 第 3 | 総合科学技術会議報告       | P. 11 |

## 第1 前回幹事会以降の経過報告

### 1 会長代理の指名

会長が海外出張につき、日本学術会議法第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり副会長を会長代理に指名した。

| 期 間        | 用 務 先 | 会 長 代 理 |
|------------|-------|---------|
| 6月24日～7月4日 | ケニア   | 石倉副会長   |

### 2 審議付託等

| 件 名                                  | 申 請 者                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 審議・付託先 |
|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 日本学術会議協力学術研究団体の指定について                | 日本食品工学会<br>中国経済学会<br>日本生涯スポーツ学会<br>日本臨床死生学会<br>コ・メディカル形態機能学会<br>関西ベンチャー学会<br>日本養護教諭教育学会<br>有限責任中間法人 日本ミトコンドリア学会<br>日本医療保育学会<br>日本山岳文化学会<br>景気循環学会<br>日本災害看護学会<br>日本自律訓練学会<br>国際ボランティア学会<br>日本ウィリアム・フォークナー協会<br>日本学校メンタルヘルス学会<br>皇學館大学人文学会<br>日本歯学系学会連絡協議会<br>特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合<br>日本健康相談活動学会 | 科学者委員会 |
| 第8回日本感性工学会年次大会の後援について                | 日本感性工学会会長<br>第8回日本感性工学会大会実行委員長                                                                                                                                                                                                                                                                       | 第三部    |
| 「次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム2006」の後援について | 独立行政法人 理化学研究所 理事長                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 第三部    |

|                          |               |     |
|--------------------------|---------------|-----|
| 「機械の日・機械週間」制定記念式典の協賛について | 社団法人 日本機械学会会長 | 第三部 |
|--------------------------|---------------|-----|

### 3 賞等の推薦

| 件 名                  | 照 会 先 | 備 考      |
|----------------------|-------|----------|
| WOLF 賞               | 各部    | 第三部より推薦有 |
| 第 20 回国際 Khwarizmi 賞 | 各部    | 照会中      |
| FYSSSEN 財団国際賞        | 各部    | 照会中      |

### 4 国際会議の開催

| 開 催 日                 | 会 議 名                                            | 会 場                      |
|-----------------------|--------------------------------------------------|--------------------------|
| 6 月 18 日～<br>6 月 23 日 | 第 20 回国際生化学・分子生物学会議<br>(開会式：黒川会長出席)              | 国立京都国際会館<br>京都宝ヶ池プリンスホテル |
| 6 月 28 日～<br>7 月 1 日  | 第 20 回国際コンピュータ支援放射線<br>医学・外科学会議<br>(開会式：浅島副会長出席) | 大阪国際会議場                  |
| 7 月 9 日～<br>7 月 13 日  | 2006 年世界政治学会・福岡大会<br>(開会式：黒川会長出席)                | 福岡国際会議場<br>福岡サンパレスホール    |

### 5 日本学術会議主催公開講演会の開催

日本学術会議主催公開講演会「身体・性差・ジェンダー—生物学とジェンダー学の対話」を 7 月 8 日（土）に本会議講堂にて開催した。

### 6 連携会員の辞職

下記連携会員から辞職の申出があり、日本学術会議会則第 13 条の規定により、幹事会の同意を得た後、会長により承認されましたので、報告します。

第 20 期 連携会員 松本 和子

(平成 18 年 7 月 5 日付け)

## 7 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第20期 会長候補者推薦委員会委員 鈴木興太郎  
金澤 一郎  
海部 宣男  
(平成18年7月13日付け)

第20期 地球惑星科学委員会国際対応分科会  
S C A R (南極研究科学委員会) 小委員会委員 秋山 實  
足立 崇  
長井 トシオ  
大野 秀樹  
森脇 喜一  
(平成18年7月26日付け)

## 8 人 事

事 務 局

企画課長 旧：武 川 恵 子 (平成18年7月14日付け)  
新：會 田 雅 人 (平成18年7月21日付け)

## 第2 各部・各委員会等報告

### 1 部会の開催とその議題

- (1) 第一部拡大役員会 (第7回) (6月29日)
  - ①連携会員 (第二次分) の選考について ②その他
- (2) 第三部拡大役員会 (第5回) (7月20日)
  - ①第二次連携会員について ②地方部会について ③その他

### 2 幹事会附置委員会の開催とその議題

- (1) 会長候補者推薦委員会 (第2回) (7月5日)
  - ①会長候補者の選定 ②会員による郵送投票 ③その他

### 3 機能別委員会の開催とその議題

- (1) 企画委員会 (第8回) (7月25日)
  - ①年次報告書執筆状況の報告 ②日本学術会議敷地内禁煙提案 ③その他
- (2) 選考委員会 (第11回) (7月5日)
  - ①前回議事要旨の確認 ②第2次連携会員候補者の選考 ③第2次連携会員の選考等の実績と今後の予定 ④その他
- (3) 選考委員会 (第12回) (7月21日)
  - ①前回議事要旨の確認 ②定年により退任する会員の連携会員への就任 ③第2次連携会員候補者名簿の決定 ④その他
- (4) 科学者委員会広報分科会 (第10回) (6月21日)
  - ①前回 (5/20) の議事要旨 ②今後の編集方針 ③広報分科会の活動状況のホームページ掲載について ④和文パンフレット・リーフレットのデザインイメージについて ⑤その他 (今後の会議日程の確認等)
- (5) 科学と社会委員会 科学力増進分科会 (第6回) (7月12日)
  - ①科学技術リテラシーについて
  - ②シンポジウムについて
    - ・ セルフエスタ2006 in 大阪
    - ・ 平成18年度女子高校生夏の学校
    - ・ 科学コミュニケーションとメディア
  - ③対外報告について
    - ・ 科学技術政策研究所 渡辺政隆氏 講演
  - ④その他

(6) 国際委員会 (第6回) (6月23日)

- ①G8サミットに向けた各国学術会議の共同声明 ②InterAcademy Panel on International Issues : Strategic Plan 2007, 2008, and 2009 ③持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2006” Global Innovation Ecosystem ” ④次回SCA総会対応の進捗状況 ⑤加入国際団体の見直し ⑥代表派遣の追加募集 ⑦その他

(7) 国際委員会 (第7回) (7月20日)

- ①代表派遣の追加の検討 ②日本・モンゴル二国間学術交流 ③IAP戦略計画 (2007-2009) 案への対応 ④加入国際団体の見直し ⑤その他

(8) 国際会議委員会アジア学術会議分科会 (第6回) (6月22日)

- ①「第7回アジア学術会議」と「第21回太平洋学術会議」との共同開催等について ②ウブントゥ連合会議について ③その他

#### 4 分野別委員会の開催とその議題

##### 第一部関係

(1) 史学委員会 国際歴史学会議等分科会 (第3回) 及び史学委員会 国際歴史学会議等分科会 国際歴史学会議小委員会 (第1回) 合同会議 (6月30日)

- ①第21回国際歴史学会議のセッションテーマ提案について ②その他

(2) 言語・文学委員会 (第5回) (6月30日)

- ①言語・文学分野関連学会の連絡協議会 (仮称) 設立の可能性について ②分科会の趣旨について ③今後の活動計画について ④その他

##### 第二部関係

(1) 農学基礎委員会 農業生産環境工学分科会 (第1回) (6月23日)

- ①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他

(2) 農学基礎委員会 水問題分科会 (第1回) (6月23日)

- ①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他

(3) 農学基礎委員会 農業情報システム学分科会 (第1回) (6月23日)

- ①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他

(4) 農学基礎委員会 農業と環境分科会 (第1回) (6月23日)

- ①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他

(5) 農学基礎委員会 地域総合農学分科会 (第1回) (6月23日)

- ①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他

- (6) 生産農学委員会 林学分科会 (第1回) (6月25日)  
①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他
- (7) 健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会 (第1回) (6月28日)  
①本分科会設置の趣旨について ②分科会委員長及び副委員長の選任について ③審議内容と活動計画について ④関連学協会との連携について ⑤その他
- (8) 健康・生活科学委員会 子どもの健康分科会 (第1回) (6月28日)  
①本分科会設置の趣旨について ②委員長・副委員長の選任について ③「子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会」活動状況について ④審議内容と活動計画について ⑤その他
- (9) 健康・生活科学委員会 看護学分科会 (第1回) (6月30日)  
①分科会委員長及び副委員長の選任について ②今後の方針と目標設定について ③その他
- (10) 臨床医学委員会・薬学委員会合同 臨床試験・治験推進分科会 (第1回)  
(6月30日)  
①委員長、副委員長等の選任について ②今後の活動方針について ③その他
- (11) 農学基礎委員会 食の安全分科会 (第1回) (6月30日)  
①分科会委員長等の決定について ②分科会の運営方針について ③その他
- (12) 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 禁煙社会の実現分科会  
(第2回) (7月3日)  
①特任連携会員の紹介 ②幹事の選任について ③今後の活動方針と役割分担について ④日本学術会議内や大学キャンパス内禁煙アピールについて ⑤その他
- (13) 生産農学委員会 農学教育分科会 (第1回) (7月4日)  
①分科会委員長等の決定について ②分科会の目標・運営について ③その他
- (14) 健康・生活科学委員会 生活科学分科会 (第1回) (7月5日)  
①分科会委員長及び副委員長の選任について ②今後の方針と目標設定について ③その他
- (15) 臨床医学委員会 脳とこころ分科会 (第1回) (7月5日)  
①委員の自己紹介 ②委員長、副委員長、幹事の決定 ③分科会としての活動内容 ④活動の分担 ⑤その他
- (16) 健康・生活科学委員会 (第5回) (7月7日)  
**【報告事項】**  
①健康・生活科学関連分科会の活動状況について (パブリックヘルス科学、健康・スポーツ科学、看護学、生活科学) ②環境リスク対応分科会について ③第2次

連携会員の専攻について ④その他

【協議事項】

①連携会員の本委員会委員就任について ②本年度の本会員の活動について ③その他

(17) 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同 パブリックヘルス分科会  
(第1回) (7月7日)

①分科会委員長及び副委員長の選任について ②今後の方針と目標設定について  
③その他

(18) 健康・生活科学委員会 高齢者の健康分科会 (第1回) (7月7日)

①分科会委員長及び副委員長の選任について ②今後の方針と目標設定について  
③その他

(19) 農学基礎委員会及び生産農学委員会 合同委員会 (第5回) (7月12日)

①シンポジウムについて ②農学合同委員会・分科会の在り方等について ③その他

(20) 農学基礎委員会及び生産農学委員会 合同委員会 (第6回) (7月13日)

①シンポジウムについて ②農学合同委員会・分科会の在り方等について ③その他

(21) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同 植物科学分科会  
(第1回) (7月19日)

①分科会委員長の選任について ②運営方針について ③その他

(22) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 海洋生物学分科会  
(第1回) (7月20日)

①分科会委員長の選任について ②運営方針について ③その他

(23) 農学基礎委員会 生産農学委員会合同 C I G R分科会 (第3回) (7月21日)

①C I G R分科会に関する経過報告 ②C I G R国際活動について ③日本学術会議共同主催国際会議について ④日本学術会議年次報告について ⑤その他

(24) 臨床医学委員会 障害者との共生分科会 (第1回) (7月21日)

①委員長、副委員長等の選任について ②今後の活動方針について ③その他

(25) 基礎医学委員会 病原体学分科会 (第1回) (7月24日)

①委員長、副委員長等の選任について ②今後の活動について ③その他

(26) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同総合微生物科学分科会  
(第1回) (7月24日)

①委員長、副委員長等の選任について ②今後の活動方針について ③その他

(27) 基礎医学委員会 病態医科学分科会 (第1回) (7月24日)

①委員長、副委員長の決定 ②今後の活動方針について ③その他

(28) 臨床医学委員会 医療情報・統計分科会 (第1回) (7月24日)

①委員長、副委員長等の選任について ②今後の活動方針について ③その他

(29) 基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 腫瘍分科会 (第1回) (7月24日)

①委員長、副委員長の決定 ②今後の活動方針について ③その他

### 第三部関係

(1) 総合工学委員会 応用物理学・工学基盤分科会 (第1回) (6月27日)

①応用物理学・工学基盤分科会委員の紹介 ②分科会委員長、副委員長、幹事の選出 ③分科会の今後の活動方針について ④小委員会について ⑤その他

(2) 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 IUGS (国際地質科学連合) 小委員会  
(第1回) (6月30日)

①委員長及び幹事の選出について ②小委員会発足までの経緯について ③小委員会の構成 ④第19期 地質研連からの引き継ぎ ⑤IUGSからの要請  
・ IUGS-ECの日本開催について  
・ IYPE国際惑星地球年キャンペーンについて  
⑥IYPE国内委員会との関係 ⑦その他

(3) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP合同分科会  
MAHASRI (モンスーンアジア水文気候研究計画) 小委員会  
(第1回) (7月14日)

①委員長等の選出について ②学術会議の体制について ③国際的なWCRPなどの動向 ④MAHASRI国内及び国際実行体制について ⑤今後の予定について ⑥その他

(4) 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP合同分科会  
(第2回) (7月20日)

①第20期における学術会議の運営体制について ②IGBP・WCRP分科会の運営について ③ESSP-OSCについて ④その他

(5) 物理学委員会・地球惑星科学委員会・化学委員会・総合工学委員会・基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 基礎科学の大型計画のあり方と推進方策検討分科会  
(第1回) (7月20日)

①委員長・副委員長・幹事の選出 ②分科会の目的と検討事項の確認 ③関連するこれまでの経過報告 ④当面の「アピール」の検討 ⑤今後の検討方針とスケジュール ⑥次回の会合 ⑦その他

(6) 土木工学・建築学委員会 国土と環境分科会 (第1回) (7月21日)

①委員長、幹事の選出 ②今後の活動方針 ③その他

(7) 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会 (第2回) (7月24日)

- ①分科会の目的と審議事項について ②今年度の活動計画、組織体制等について
- ③その他

(8) 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 I G U小委員会 (第2回) (7月24日)

- ① I G U Brisbane2006 Conference について ②今年度の活動計画、連絡体制等について
- ③ C C H D (人間開発のための文化文明行動計画) への対応について ④来春の I G U役員会について ⑤その他

## **5 課題別委員会の開催とその議題**

(1) 学術・芸術資料保全体制検討委員会 (第3回) (6月26日)

- ①資料管理の組織・制度について ②公開講演会について ③その他

(2) 学術とジェンダー委員会 (第5回) (6月26日)

### **【報告事項】**

- ①公開講演会について

### **【審議事項】**

- ①公開講演会について ②井谷委員からの話題提供 ③大内委員からの話題提供
- ④本委員会の報告書について ⑤シンポジウムについて ⑥「学術の動向」11月号特集号の企画案 ⑦その他

(3) 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会 (第3回) (6月27日)

- ①教師の科学的教養について ②米国の certificate について ③今後の進め方及び提言について ④その他

(4) ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会 (第3回)

(6月27日)

- ①報告書の構成について ②その他

(5) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会拡大役員会

(第1回) (6月28日)

- ①国土交通省からの諮問について ②各分科会の審議状況について ③委員会の検討事項について ④その他

(6) 科学者委員会男女共同参画分科会及び学術とジェンダー委員会合同委員会

(第1回) (7月8日)

- ①公開講演会について ②その他

(7) 科学者コミュニティと知の総合委員会役員会 (第1回) (7月14日)

- ①本委員会の検討事項について ②今後の委員会の活動について ③その他

- (8) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会 (第2回)(7月14日)  
①災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方について ②その他
- (8) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会 (第2回)(7月18日)  
①今村委員からの話題提供 ②池田委員からの話題提供 ③その他
- (10) 科学者コミュニティと知の統合委員会 (第2回)(7月24日)  
①第三期科学技術計画と知の統合について ②日本学術会議における学協会との連携について ③今後の進め方について ④その他
- (11) 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会 (第4回)(7月24日)  
①教員養成・免許制度の在り方について ②教師の科学的教養について ③その他
- (12) 学術とジェンダー委員会 (第6回)(7月25日)  
①本委員会の報告書について ②シンポジウムについて ③その他

### 第3 総合科学技術会議報告

#### 1 専門調査会

\*第57回評価専門調査会 7月13日

- (1) 国家基幹技術の評価について
- (2) その他

\*第2回科学技術基本政策推進専門調査会 7月21日

- (1) 科学技術の振興及び成果の社会への還元に向けた制度改革について
- (2) その他

#### 2 総合科学技術会議有識者議員会合

- ・ 6月29日
- ・ 7月 6日 \*会長出席
- ・ 7月13日 \*会長出席
- ・ 7月20日 \*会長出席予定

# 審 議 事 項

- 提案 1 国際委員会運営要綱の一部を改正する決定案について
- 提案 5 分野別委員会運営要綱の一部を改正する決定案について
- 提案 7 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会設置要綱の一部を改正する決定案について
- 提案 9 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会設置要綱の一部を改正する決定案について
- 提案 17 第 149 回総会日程（案）について
- 提案 18 日本学術会議協力研究団体規程の一部を改正する決定案について
- 提案 19 日本学術会議協力学術研究団体の指定について
- 提案 20 平成 18 年度代表派遣について（平成 18 年 9 月分）
- 提案 21 平成 18 年度代表派遣の変更について
- 提案 22 第 13 回ウ・タント記念講演の開催について
- 提案 23 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2006  
ーグローバル・イノベーション・エコシステムーの開催について
- 提案 24 シンポジウム「子どもを元気にする環境とはー政策の現状と評価ー」  
の開催について
- 提案 25 「第 14 回かがわけん科学体験フェスティバル」の開催について
  
- 提案 26 国内会議の後援について
- 提案 27 国際会議の後援について

|     |     |
|-----|-----|
| 1   |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

国際委員会運営要綱の一部を改正する決定案について

1 提 案 者 国際委員会委員長

2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。

3 提案理由 日本・モンゴル二国間学術交流派遣事業及び平成19年度に開催される共同主催国際会議に係る準備及び運営等のため、国際委員会運営要綱別表1、2について、所要の改正を行う。

国際委員会運営要綱（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

| 改 正 後                      |                                                              |                                                                                        |     | 改 正 前            |                                                                                                               |                                                                           |     |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----|
| 別表 1                       |                                                              |                                                                                        |     | 別表 1             |                                                                                                               |                                                                           |     |
| 分 科 会                      | 調査審議事項                                                       | 構 成                                                                                    | 備 考 | 分 科 会            | 調査審議事項                                                                                                        | 構 成                                                                       | 備 考 |
| 日本・カナダ女性研究者交流分科会           | 日本・カナダ女性研究者交流事業の実施に関する事                                      | 会長及び副会長<br>（日本学術会議<br>会則第５条第３<br>号担当）並びに<br>委員長が必要と<br>認める会員又は<br>連携会員若干名              |     | 日本・カナダ女性研究者交流分科会 | 日本・カナダ女性研究者交流事業の実施に関する事                                                                                       | 会長及び副会長<br>（日本学術会議<br>会則第５条第３<br>号担当）並びに<br>委員長が必要と<br>認める会員又は<br>連携会員若干名 |     |
| <u>日本・モンゴル<br/>学術交流分科会</u> | <u>日本学術会議と<br/>モンゴル学術機<br/>関との二国間学<br/>術交流の実施に<br/>関すること</u> | <u>会長及び副会長<br/>（日本学術会議<br/>会則第５条第３<br/>号担当）並びに<br/>委員長が必要と<br/>認める会員又は<br/>連携会員若干名</u> |     | ICSU等分科<br>会     | 国際科学会議<br>（ICSU）、<br>国際問題に関す<br>るインターアカ<br>デミーパネル<br>（IAP）及び<br>インターアカデ<br>ミーカウンスル<br>（IAC）への<br>対応に関するこ<br>と | 委員会の委員３<br>名以内並びに委<br>員長が必要と認<br>める会員又は連<br>携会委員１０名<br>以内                 |     |
| ICSU等分科<br>会               | 国際科学会議<br>（ICSU）、<br>国際問題に関す<br>るインターアカ<br>デミーパネル<br>（IAP）及び | 委員会の委員３<br>名以内並びに委<br>員長が必要と認<br>める会員又は連<br>携会委員１０名<br>以内                              |     | (略)              | (略)                                                                                                           | (略)                                                                       | (略) |
|                            |                                                              |                                                                                        |     | (略)              | (略)                                                                                                           | (略)                                                                       | (略) |

|                            |                                                    |                                                              |                          |                             |                                          |                                                              |                          |
|----------------------------|----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------|
|                            | インターアカデ<br>ミーカウンスル<br>( I A C ) への<br>対応に関するこ<br>と |                                                              |                          | (略)                         | (略)                                      | (略)                                                          | (略)                      |
|                            |                                                    |                                                              |                          |                             |                                          |                                                              |                          |
| 別表 2                       |                                                    |                                                              |                          | 別表 2                        |                                          |                                                              |                          |
| 分 科 会                      | 調査審議事項                                             | 構 成                                                          | 備 考                      | 分 科 会                       | 調査審議事項                                   | 構 成                                                          | 備 考                      |
| 第 2 回 バイオ鉄<br>学会総会小分科<br>会 | 第 2 回 バイオ鉄<br>学会総会の開催<br>に係る準備及び<br>運営等            | 国際会議主催等<br>検討分科会委員<br>1 名並びに当該<br>国際会議の開催<br>に係る会員<br>又は連携会員 | 国際会議主催等<br>検討分科会に置<br>く。 | 第 18 回 バイオ<br>鉄国際会議小分<br>科会 | 第 18 回 バイオ<br>鉄国際会議の開<br>催に係る準備及<br>び運営等 | 国際会議主催等<br>検討分科会委員<br>1 名並びに当該<br>国際会議の開催<br>に係る会員<br>又は連携会員 | 国際会議主催等<br>検討分科会に置<br>く。 |
| (略)                        | (略)                                                | (略)                                                          | (略)                      | (略)                         | (略)                                      | (略)                                                          | (略)                      |
|                            |                                                    |                                                              |                          |                             |                                          |                                                              |                          |

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

|     |     |
|-----|-----|
| 5   |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

分野別委員会運営要綱の一部を改正する決定案について

- 1 提 案 者      心理学・教育学委員会委員長  
地球惑星科学委員会  
機械工学委員会  
土木工学・建築学委員会
- 2 議      題      標記について、別紙案のとおり決定すること
- 3 提案理由      分科会及び小委員会の設置並びに分科会の構成の変更に伴い  
設置要綱を一部改正する必要があるため。

分野別委員会運営要綱(平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定)の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄の掲げる規定をこれに対応する改正後の欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

**改　正　後**

| 別表第1       |                             |                                                                                               |                |     |
|------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|
| 分野別委員会     | 分科会                         | 調査審議事項                                                                                        | 構成             | 備考  |
| (略)        | (略)                         | (略)                                                                                           | (略)            | (略) |
| 心理学・教育学委員会 | (略)                         | (略)                                                                                           | (略)            | (略) |
|            | 心理学・教育学委員会心理学教育プログラム検討分科会   | ・大学の心理学教育における基礎科目と専門科目の基準の審議に関すること<br>・医療法制下での心理学国資格者養成教育の基準の審議に関すること                         | 10名以内の会員又は連携会員 |     |
|            | 心理学・教育学委員会心の先端研究と心理学専門教育分科会 | ・心の科学的実証的な研究に必要な先端技術の教育方法と若手研究者養成プログラムの検討に関すること<br>・研究拠点校を結ぶネットワークの構築と心理科学の国際的研究拠点構想の審議に関すること | 10名以内の会員又は連携会員 |     |
|            | 心理学・教育学委員会脳と意識分科会           | 高度情報化社会がかえる問題の検討に関すること                                                                        | 10名以内の会員又は連携会員 |     |
| (略)        | (略)                         | (略)                                                                                           | (略)            | (略) |

**改　正　前**

| 別表第1       |     |        |     |     |
|------------|-----|--------|-----|-----|
| 分野別委員会     | 分科会 | 調査審議事項 | 構成  | 備考  |
| (略)        | (略) | (略)    | (略) | (略) |
| 心理学・教育学委員会 | (略) | (略)    | (略) | (略) |
|            |     |        |     |     |
|            |     |        |     |     |
|            |     |        |     |     |
| (略)        | (略) | (略)    | (略) | (略) |

| 分野別委員会    | 分科会                  | 調査審議事項                           | 構成                     | 備考 |
|-----------|----------------------|----------------------------------|------------------------|----|
| (略)       | (略)                  | (略)                              | (略)                    |    |
| 地球惑星科学委員会 | 地球惑星科学委員会<br>国際対応分科会 | 海洋研究科学委員会 (SCOR) への対応に関すること      | 40名以内の<br>会員又は連<br>携会員 |    |
|           |                      | 国際地質科学連合 (IUGS) への対応に関すること       |                        |    |
|           |                      | 国際鉱物学連合 (IMA) への対応に関すること         |                        |    |
|           |                      | 国際第四紀学連合 (INQUA) への対応に関すること      |                        |    |
|           |                      | 国際地理学連合 (IGU) への対応に関すること         |                        |    |
|           |                      | 国際地図学協会 (ICA) への対応に関すること         |                        |    |
|           |                      | 国際測地学及び地球物理学連合 (IUGG) への対応に関すること |                        |    |
|           |                      | 宇宙空間研究委員会 (COSPAR) への対応に関すること    |                        |    |
|           |                      | 南極研究科学委員会 (SCAR) への対応に関すること      |                        |    |
|           |                      | 国際北極科学委員会 (IASC) への対応に関すること      |                        |    |

| 分野別委員会    | 分科会                  | 調査審議事項                           | 構成                              | 備考 |
|-----------|----------------------|----------------------------------|---------------------------------|----|
| (略)       | (略)                  | (略)                              | (略)                             |    |
| 地球惑星科学委員会 | 地球惑星科学委員会<br>国際対応分科会 | 海洋研究科学委員会 (SCOR) への対応に関すること      | 7名以内の<br>会員及び25<br>名以内の連<br>携会員 |    |
|           |                      | 国際地質科学連合 (IUGS) への対応に関すること       |                                 |    |
|           |                      | 国際鉱物学連合 (IMA) への対応に関すること         |                                 |    |
|           |                      | 国際第四紀学連合 (INQUA) への対応に関すること      |                                 |    |
|           |                      | 国際地理学連合 (IGU) への対応に関すること         |                                 |    |
|           |                      | 国際地図学協会 (ICA) への対応に関すること         |                                 |    |
|           |                      | 国際測地学及び地球物理学連合 (IUGG) への対応に関すること |                                 |    |
|           |                      | 宇宙空間研究委員会 (COSPAR) への対応に関すること    |                                 |    |
|           |                      | 南極研究科学委員会 (SCAR) への対応に関すること      |                                 |    |
|           |                      | 国際北極科学委員会 (IASC) への対応に関すること      |                                 |    |

|         |                                               |                                                                                                              |                               |  |
|---------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--|
|         |                                               | 地質科学国際研究計画(IGCP)への対応に関すること                                                                                   |                               |  |
|         |                                               | 国際リソスフェア計画(ILP)への対応に関すること                                                                                    |                               |  |
|         |                                               | 太陽地球系物理学国際共同研究計画(STPP)への対応に関すること                                                                             |                               |  |
|         |                                               | 太陽地球系物理学・科学委員会(SCOSTEP)への対応に関すること                                                                            |                               |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |
|         | 地球惑星科学委員会国際対応分科会IYPE(国際惑星地球年)小委員会             | 国際惑星地球年(International Year of Planet Earth; IYPE)に関すること                                                      | 10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者 |  |
|         | 地球惑星科学委員会国際対応分科会IASPEI(国際地震学および地球内部物理学協会)小委員会 | 国際地震学および地球内部物理学協会(International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior; IASPEI)に関すること | 10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者 |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |
| 機械工学委員会 | 機械工学委員会機械工学ディシプリン分科会                          | 機械工学、機械系技術者の新世紀ビジョン等に関すること                                                                                   | 15名以内の会員又は連携会員                |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |
|         | (略)                                           | (略)                                                                                                          | (略)                           |  |

|         |     |                                   |     |  |
|---------|-----|-----------------------------------|-----|--|
|         |     | 地質科学国際研究計画(IGCP)への対応に関すること        |     |  |
|         |     | 国際リソスフェア計画(ILP)への対応に関すること         |     |  |
|         |     | 太陽地球系物理学国際共同研究計画(STPP)への対応に関すること  |     |  |
|         |     | 太陽地球系物理学・科学委員会(SCOSTEP)への対応に関すること |     |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |
|         |     |                                   |     |  |
|         |     |                                   |     |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |
| 機械工学委員会 |     |                                   |     |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |
|         | (略) | (略)                               | (略) |  |

|                 |                                                                      |                                                  |                                                   |  |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--|
| 土木工学・建築<br>学委員会 | 土木工学・建築<br>学委員会建設と<br>社会分科会次世<br>代の社会的共通<br>資産に関する研<br>究推進戦略小委<br>員会 | 次世代の社会的共通<br>資産を対象とした基礎<br>的研究の推進戦略の<br>審議に関すること | 15名以内の<br>会員、連携<br>会員又は会<br>員若しくは連<br>携会員以外<br>の者 |  |
|                 | (略)                                                                  | (略)                                              | (略)                                               |  |
|                 | (略)                                                                  | (略)                                              | (略)                                               |  |

|                 |     |     |     |  |
|-----------------|-----|-----|-----|--|
| 土木工学・建築<br>学委員会 |     |     |     |  |
|                 | (略) | (略) | (略) |  |
|                 | (略) | (略) | (略) |  |

附則  
この決定は、決定の日から施行する。

(様式)

心理学・教育学委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について

分科会等名： 心理学教育プログラム検討分科会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 心理学・教育学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2 | 委員の構成                               | 10名以内の会員又は連携会員                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 3 | 設置目的                                | 今日、大学の心理学志願者数は著しく増加しており、心理学に関連した学部・学科の急増は、これを物語っている。しかし、志願者を含め心理学に関する一般の認識には、かなりの偏りがある。そこで、現代心理学の動向を踏まえた科学的心理学教育の在り方を明確化にすることは、大学生のみならず一般社会に心理学の正しい理解を浸透させる上で重要である。特に、心理学教育による職業的アイデンティティの明確化は、目標達成型の学士課程教育に必須である。これらの点から、大学における心理学教育のスタンダードを確立する具体施策を提言することが、本分科会の設置目的である。 |
| 4 | 審議事項                                | 1) 大学の心理学教育における基礎科目と専門科目の基準審議<br>2) 医療法制下での心理学国資格者養成教育の基準審議                                                                                                                                                                                                                 |
| 5 | 設置期間                                | 期限設置          年          月          日～          年          月          日<br><div>常設</div>                                                                                                                                                                                    |
| 6 | 備考                                  | 隣接領域について特任連携会員を依頼することがある                                                                                                                                                                                                                                                    |

(様式)

心理学・教育学委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について

分科会等名： 心の先端研究と心理学専門教育分科会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                     |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 心理学・教育学委員会                                                                                                                                                                          |
| 2 | 委員の構成                               | 10名以内の会員又は連携会員                                                                                                                                                                      |
| 3 | 設置目的                                | 21世紀の人間研究において、人間精神（心）の科学的解明をめざす心理科学と脳神経科学の役割が、ますます重要性を増している。本分科会では、心の先端的な科学研究をどのように推進すべきか、また、大学院レベルの心理学専門教育をどのように高度化したらよいかに関する提言をまとめる。国際競争力のある心理学の先端研究を推し進める研究組織と専門教育体制について幅広く議論する。 |
| 4 | 審議事項                                | 1) 心の科学的実証的な研究に必要な先端技術の教育方法と若手研究者養成プログラムの検討。<br>2) 研究拠点校を結ぶネットワークの構築と心理科学の国際的研究拠点構想について審議する。                                                                                        |
| 5 | 設置期間                                | 期限設置      年      月      日～      年      月      日<br><div>常設</div>                                                                                                                    |
| 6 | 備考                                  | 必要により特任連携会員を依頼する                                                                                                                                                                    |

(様式)

心理学・教育学委員会分科会（小分科会、小委員会）の設置について

分科会等名： 脳と意識分科会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 心理学・教育学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 2 | 委員の構成                               | 10名以内の会員又は連携会員                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 3 | 設置目的                                | 意識の解明はデカルト以来人間存在の根源にかかわり心理学、教育学、哲学、基礎・臨床医学、情報学など日本学術会議の1, 2, 3部の分野と密接につながる先端的なテーマである。ここ数年、実験心理学や認知脳科学などの分野で脳と意識の科学的研究が進展してきた。前頭葉における創発的思考、自己や他者の脳内表現の社会神経科学が新たな意識科学の領域を切り開きつつある。志向的な意識を支えるワーキングメモリや心の理論などがどのように高次脳の実行系機能とかかわるのかを検討し、意識研究に学際的なサイエンスの光をあてることを目的とする。教育、学力や高齢化社会とかかわる問題についても検討する。 |
| 4 | 審議事項                                | 意識と高次社会脳とのかかわりについての先端研究の理解を通して、高度情報化社会がかかえる問題を検討し提言をまとめる。                                                                                                                                                                                                                                     |
| 5 | 設置期間                                | 期限設置          年      月      日～          年      月      日<br><div>常設</div>                                                                                                                                                                                                                      |
| 6 | 備考                                  | 隣接領域について特任連携会員を依頼することがある                                                                                                                                                                                                                                                                      |

地球惑星科学委員会国際対応分科会小委員会の設置について

分科会等名：地球惑星科学委員会国際対応分科会 IYPE（国際惑星地球年）小委員会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>（複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。） | 地球惑星科学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 2 | 委員の構成                               | 10 名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 3 | 設置目的                                | 国際惑星地球年（International Year of Planet Earth ; IYPE）は、国際地質科学連合（IUGS）とユネスコが呼びかけ、191 の国や地域の全面的支持のもとで 2005 年 12 月の国連総会で宣言され、2008 年を中心として、2007 年から 2009 年を活動期間とするプログラムである。「社会のための地球科学」を標語とし、災害、資源、健康、気候、地下水、海洋、土壌、地球深部、巨大都市、生命の 10 の科学プログラムとアウトリーチプログラムからなる。日本における科学プログラムの具体的活動、アウトリーチ活動の提案、国内及び国際連携の方策の検討を行い、日本地球惑星科学連合を始めとする学会、産業界及び官へ働きかけをすることなどが、本小委員会設置の目的である。 |
| 4 | 審議事項                                | <p>1. IYPE に関する日本における科学プログラムについての審議</p> <p>2. IYPE に関する日本におけるアウトリーチプログラムについての審議</p> <p>3. IYPE に関する国際的連携・調整及び資金調達についての審議</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5 | 設置期間                                | <p>時限設置 平成 18 年 7 月 26 日～ 平成 20 年 3 月 31 日</p> <p>常設</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 6 | 備考                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

(様式)

地球惑星科学委員会国際対応分科会小委員会の設置について

分科会等名：地球惑星科学委員会国際対応分科会 IASPEI（国際地震学および地球内部物理学協会）小委員会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 地球惑星科学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 2 | 委員の構成                               | 10 名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 | 設置目的                                | 国際地震学および地球内部物理学協会（International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior ; IASPEI）は、国際測地学及び地球物理学連合（International Union of Geodesy and Geophysics ; IUGG）の下に設立された組織であり、国際協力を通して地震学および地球内部物理学の発展を促進することを使命としている。2005 年 9 月までは、日本学術会議地球物理学研究連絡委員会地震学専門委員会が、日本を代表して国内委員会の役割を担い、国内の関連学会・研究者が IASPEI の活動を通して世界の地震学および地球内部物理学の振興と人類社会への貢献に寄与するのを支援してきた。そのような国内委員会の活動を継承しつつ、新しい日本学術会議の理念に沿った国際対応を具体化するのが、本小委員会設置の目的である。 |
| 4 | 審議事項                                | 1. IASPEI と連携した国際的および国内的な地震学・地球内部物理学の振興、普及および社会貢献に関する事項<br>2. IASPEI に関する役員等の推薦、国際会議等への代表の派遣、国際会議等の日本への招致に関する事項、その他                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5 | 設置期間                                | 時限設置          年          月          日～          年          月          日<br><div>常設</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 6 | 備考                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

(様式)

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名： 機械工学ディシプリン分科会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 機械工学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2 | 委員の構成                               | 15名以内の会員又は連携会員                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3 | 設置目的                                | 工学・技術の革新には、各専門学術分野の深化と他分野との協働が必要であり、未来社会に貢献するためには、特に学際・横断型の手法と知識の重要性が指摘される。力学を基盤とした設計方法論として発展した機械工学も、新しい時代を迎えて、現代物理、情報学、化学、生物学、医学などとの融合領域の発展と共に、学際横断型の学術として大きく変容しようとしている。一方、そのような学術協働を成功に導くには、確固たるディシプリンの確立も重要である。新世紀に相応しい機械工学のビジョンと目標を構築し、未来の機械工学の研究者・技術者の育成の観点からも、機械工学のディシプリン、学術大系の骨格を描くことを試みる。 |
| 4 | 審議事項                                | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 機械工学，機械系技術者の新世紀ビジョン</li><li>2. 機械工学における学術動向の調査（関連学協会，21COE 拠点，大型研究プロジェクト，海外研究機関での動向などの調査を含む）</li><li>3. 科学者コミュニティと知の統合委員会との合同審議</li><li>4. 機械系高等教育のビジョン</li><li>5. まとめ</li></ol>                                                                         |
| 5 | 設置期間                                | 時限設置 平成18年9月1日～平成20年8月31日<br>常設                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 6 | 備考                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

(様式)

土木工学・建築学委員会建設と社会分科会小委員会の設置について

分科会等名：次世代の社会的共通資産に関する研究推進戦略小委員会

|   |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 所属委員会名<br>(複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | 土木工学・建築学委員会                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2 | 委員の構成                               | 15名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 | 設置目的                                | <p>本小委員会は分科会「建設と社会」の下に設置し、下記について検討を行う。</p> <p>我が国の国民が共有する建設物や社会基盤、更には地球上の人間にとっての共通資本である大気に至るまで、社会的共通資産については、将来の長期を展望した基礎的研究を体系的に推進する必要がある。しかるに土木工学・建築学分野の現今の研究動向は、ややニーズオリエンテッドに偏するきらいなしとしない。かかる現状に鑑み、本小委員会は社会的共通資産を対象とし、そのあるべき将来像を探り、長期的視野による学術研究の方向性について検討して基礎研究推進戦略に関する提言を行う。</p> |
| 4 | 審議事項                                | 次世代の社会的共通資産を対象とした基礎的研究の推進戦略の審議に関すること。                                                                                                                                                                                                                                               |
| 5 | 設置期間                                | 時限設置 平成18年7月26日～平成20年9月30日<br>常設                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 6 | 備考                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|     |     |
|-----|-----|
| 7   |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会  
設置要綱の一部を改正する決定案について

- 1 提 案 者 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会委員長
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 委員会及び分科会の増員に伴い、設置要綱を一部改正する必要があるため。

(案)

地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会設置要綱（平成18年2月13日日本学術会議第8回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

| 改 正 後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 改 正 前                               |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|---------------------|----|-------------------------|------------------------------------|---------------------|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|----|-------------------------|------------------------------------|--------------|-------------------------------------|---------------------------------|--------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------|
| (略)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | (略)                                 |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| (組織)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | (組織)                                |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 第 3 委員会は、 <u>2 2</u> 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 第 3 委員会は、 2 1 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。 |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| (略)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | (略)                                 |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| (分科会)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | (分科会)                               |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 第 5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 第 5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。             |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| <table><tr><th>分科会</th><th>調査審議事項</th><th>構成</th></tr><tr><td>地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会</td><td>気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。</td><td>委員会の委員<u>7</u>名程度</td></tr><tr><td>災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会</td><td>災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。</td><td>委員会の委員<u>8</u>名程度</td></tr><tr><td>災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会</td><td>災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。</td><td>委員会の委員 8 名程度</td></tr></table> | 分科会                                 | 調査審議事項              | 構成 | 地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会 | 気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。 | 委員会の委員 <u>7</u> 名程度 | 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会 | 災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。 | 委員会の委員 <u>8</u> 名程度 | 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会 | 災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。 | 委員会の委員 8 名程度 | <table><tr><th>分科会</th><th>調査審議事項</th><th>構成</th></tr><tr><td>地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会</td><td>気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。</td><td>委員会の委員 6 名程度</td></tr><tr><td>災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会</td><td>災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。</td><td>委員会の委員 7 名程度</td></tr><tr><td>災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会</td><td>災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。</td><td>委員会の委員 8 名程度</td></tr></table> | 分科会 | 調査審議事項 | 構成 | 地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会 | 気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。 | 委員会の委員 6 名程度 | 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会 | 災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。 | 委員会の委員 7 名程度 | 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会 | 災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。 | 委員会の委員 8 名程度 |
| 分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 調査審議事項                              | 構成                  |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。  | 委員会の委員 <u>7</u> 名程度 |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。     | 委員会の委員 <u>8</u> 名程度 |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。      | 委員会の委員 8 名程度        |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 調査審議事項                              | 構成                  |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。  | 委員会の委員 6 名程度        |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。     | 委員会の委員 7 名程度        |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。      | 委員会の委員 8 名程度        |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |
| (略)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | (略)                                 |                     |    |                         |                                    |                     |                                     |                                 |                     |                               |                                |              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |     |        |    |                         |                                    |              |                                     |                                 |              |                               |                                |              |

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

## (参考)

### 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会設置要綱 (改正後)

〔平成 18 年 2 月 13 日〕  
日本学術会議第 8 回幹事会決定

改正 平成 18 年 2 月 23 日 日本学術会議第 9 回幹事会決定  
改正 平成 18 年 5 月 25 日 日本学術会議第 16 回幹事会決定  
改正 平成 18 年 月 日 日本学術会議第 回幹事会決定

#### (設置)

第 1 日本学術会議会則第 16 条第 1 項に基づく課題別委員会として、地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会（以下「委員会」という。）を置く。

#### (職務)

第 2 委員会は、気候変動や地震による災害の分析並びにそれに対応する社会基盤及び社会制度等の検討を行う。

#### (組織)

第 3 委員会は、22 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。

#### (設置期限)

第 4 委員会は、平成 19 年 3 月 31 日まで置かれるものとする。

#### (分科会)

第 5 委員会に、次の表のとおり分科会を置く。

| 分科会                                 | 調査審議事項                             | 構成              |
|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------|
| 地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会             | 気候変動などの自然環境変化、大地震などの自然災害の予測に関すること。 | 委員会の委員<br>7 名程度 |
| 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会 | 災害を軽減させるための社会基盤の適正な水準と配備に関すること。    | 委員会の委員<br>8 名程度 |
| 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会       | 災害軽減のための社会システムや危機管理の在り方に関すること。     | 委員会の委員<br>8 名程度 |

(庶務)

第6 委員会の庶務は、事務局参事官(審議第二担当)において処理する。

(雑則)

第7 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成18年2月23日日本学術会議第9回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成18年5月25日日本学術会議第16回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成18年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

|     |     |
|-----|-----|
| 9   |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会 設置要綱の一部を改正する決定案について

- 1 提 案 者      子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会委員長
  
- 2 議      案      標記について、別紙案のとおり決定すること。
  
- 3 提案理由      小委員会の設置に伴い、設置要綱を一部改正する必要があるため。

(案)

子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会設置要綱（平成18年2月13日日本学術会議第8回幹事会決定）の一部を次のように改正する。次表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

| 改 正 後                                                             |                                                      |                                    | 改 正 前                                                     |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| (略)<br>(小委員会)<br><u>第5 委員会に、次の表のとおり小委員会を置く。</u>                   |                                                      |                                    | (略)                                                       |
| <u>小委員会</u>                                                       | <u>調査審議事項</u>                                        | <u>構成</u>                          |                                                           |
| <u>政策提言調査小委員会</u>                                                 | <u>子どもの活力が大きく低下している状況について現状調査し、要因についての総合的分析を行うこと</u> | <u>20名以内の会員、連携会員または会員、連携会員以外の者</u> |                                                           |
| (庶務)<br>第 <u>6</u> 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。                |                                                      |                                    | (庶務)<br>第5 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。                |
| (雑則)<br>第 <u>7</u> この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。 |                                                      |                                    | (雑則)<br>第6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。 |

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

# 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会設置要綱（改正後）

平成 18 年 2 月 13 日  
日本学術会議第8回幹事会決定

改正 平成 18 年 月 日 日本学術会議第 回幹事会決定

## （設置）

第 1 日本学術会議会則第 16 条第 1 項に基づく課題別委員会として、子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

## （職務）

第 2 委員会は、子どもの活力が低下している要因について分析し、活性化のための国家的な戦略のための基本方策について審議する。

## （組織）

第 3 委員会は、15 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。

## （設置期限）

第 4 委員会は、平成 19 年 2 月 28 日まで置かれるものとする。

## （小委員会）

第 5 委員会に、次の表のとおり小委員会を置く。

| 小委員会               | 調査審議事項                                        | 構成                           |
|--------------------|-----------------------------------------------|------------------------------|
| 政策提言<br>調査小委<br>員会 | 子どもの活力が大きく低下している状況について現状調査し、要因についての総合的分析を行うこと | 20 名以内の会員、連携会員または会員、連携会員以外の者 |

## （庶務）

第 6 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第二担当）において処理する。

## （雑則）

第 7 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

### 附 則

この決定は、決定の日から施行する。

附 則（平成 18 年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定）

この決定は、決定の日から施行する。

|     |     |
|-----|-----|
| 1 7 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 第149回総会日程（案）について

1 提 案 者      会      長

2 議      案      標記について、別紙のとおりとすること。

## 第149回総会日程（案）

－ 第20期第4回 －

### 第1 日程表

|              | 10:00                                                     | ～  | 12:00              | 13:30                   | ～                   | 15:30  | 17:30              | ～18:30       |
|--------------|-----------------------------------------------------------|----|--------------------|-------------------------|---------------------|--------|--------------------|--------------|
| 10月2日<br>(月) | 総会<br>・新会長選出<br>・新会長就任挨拶<br>・前会長退任挨拶<br><br>諸報告<br>提案事項説明 |    | 昼休み<br><br>新会長記者会見 |                         | 部会                  | 総会     |                    | 幹事会          |
|              | 10:00～10:30                                               |    | 12:00              | 13:30                   | ～                   | 14:30  | ～                  | 15:30～17:30～ |
| 10月3日<br>(火) | 総会<br>・新・旧副会長就任挨拶<br>・新副会長の指名<br>・前副会長辞任報告                | 部会 | 昼休み<br><br>幹事会     | 総会<br>・特別講演<br>ロバート・メイ卿 | 総会<br>提案事項<br>審議・採決 | 機能別委員会 | 懇親会<br>新会長・副会長就任祝賀 |              |
|              | 10:00                                                     | ～  | 12:00              | 13:30                   | ～                   | 16:00  | ～                  |              |
| 10月4日<br>(水) | 各種委員会等                                                    |    | 昼休み                | 各種委員会等                  |                     |        |                    | 幹事会          |

（総会中の日程は、審議の状況により変更される場合があります。）

### 第2 会場

総会……講堂  
部会……各部会議室  
幹事会……大会議室

|     |     |
|-----|-----|
| 1 8 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

# 提 案

日本学術会議協力学術研究団体規程の一部を改正する決定案について

- 1 提案者        科学者委員会委員長
- 2 議 案        標記について、別紙案のとおり決定すること
- 3 提案理由     学術研究団体の連合体についての記述を改めるとともに、別表で定められた協力学術研究団体の申込書について、連合体の場合の構成する団体の記入欄及び団体が関連する分野別委員会を記入する欄を新設する。

日本学術会議協力学術研究団体規程（平成１７年１０月４日 日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

| 改 正 後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 改 正 前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>（要件）</p> <p>第１ 日本学術会議会則第３４条に規定する日本学術会議協力学術研究団体は、<u>次の基準を具備する学術研究団体及びそれらの連合体であることを原則とする。</u></p> <p>① 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とし、かつその目的とする分野における学術研究団体として活動しているものであること。</p> <p>（略）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>（雑則）</p> <p><u>第７</u> この要綱に定めるもののほか、日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与並びに日本学術会議協力学術研究団体との連携及び協力に当たって必要な事項は、科学者委員会がこれを定める。</p> <p>（略）</p> | <p>（要件）</p> <p>第１ 日本学術会議会則第３４条に規定する日本学術会議協力学術研究団体は、<u>次の基準を具備することを原則とする。</u></p> <p>① 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とする団体であって、かつその目的とする分野における学術研究団体として活動しているものであること。</p> <p>（略）</p> <p><u>（学会の連合体等）</u></p> <p><u>第７ 学会の連合体及びこれに準じるもの、その他日本学術会議において必要と認めた団体は、学術研究団体に準じて取り扱うものとする。</u></p> <p>（雑則）</p> <p><u>第８</u> この要綱に定めるもののほか、日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与並びに日本学術会議協力学術研究団体との連携及び協力に当たって必要な事項は、科学者委員会がこれを定める。</p> <p>（略）</p> |

| 改正後                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 改正前                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>別表（第3項関係）</div> <div><div>日本学術会議協力学術研究団体申込書</div><div>平成    年    月    日</div><div>日本学術会議会長    殿</div><div>申込団体名</div><div>代表者氏名</div><div>印</div><div>日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。</div><div>記</div><div>1    名    称    和文（ふりがな）</div><div>英文</div><div>2    代表者（氏名、所属・肩書き、性別）</div><div>3    設立年月日</div><div>4    個人会員である構成員の数（学部学生を除く。）及び男女の別</div><div>連合体の場合は、連合体を構成する団体名及び構成員の数を記入してください。</div><div>5    活動状況</div><div>（1） 機関誌（誌名、創刊年月、発行回数／年、発行部数）</div><div>（2） 会    合（年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数／年）</div><div>（3） その他</div><div>6    連合体への加盟状況</div><div>（1） 国内（連合体名称、加盟年月日）</div><div>（2） 国外（連合体名称、加盟年月日）</div><div>7    事務所（事務局）</div><div>所在地    〒</div><div>事務担当者名、電話、F A X、E-mail、ホームページ</div><div>※ 貴学会が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。（複数可）</div><div>また、関係すると思われる分野別委員会（日本学術会議ホームページ参照）を（    ）内にご記入ください。</div><div>1) 人文・社会科学                      2) 生命科学                      3) 理学・工学</div><div>（                      ）                      （                      ）                      （                      ）</div><div>（略）</div></div> | <div>別表（第3項関係）</div> <div><div>日本学術会議協力学術研究団体申込書</div><div>平成    年    月    日</div><div>日本学術会議会長    殿</div><div>申込団体名</div><div>代表者氏名</div><div>印</div><div>日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。</div><div>記</div><div>1    名    称    和文（ふりがな）</div><div>英文</div><div>2    代表者（氏名、所属・肩書き、性別）</div><div>3    設立年月日</div><div>4    個人会員である構成員の数（学部学生を除く。）及び男女の別</div><div>5    活動状況</div><div>（4） 機関誌（誌名、創刊年月、発行回数／年、発行部数）</div><div>（5） 会    合（年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数／年）</div><div>（6） その他</div><div>6    連合体への加盟状況</div><div>（3） 国内（連合体名称、加盟年月日）</div><div>（4） 国外（連合体名称、加盟年月日）</div><div>7    事務所（事務局）</div><div>所在地    〒</div><div>事務担当者名、電話、F A X、E-mail、ホームページ</div><div>※ 貴学会が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。（複数可）</div><div>1) 人文・社会科学                      2) 生命科学                      3) 理学・工学</div><div>（略）</div></div> |

(改正案)

## 日本学術会議協力学術研究団体規程

〔平成 17 年 10 月 4 日〕  
日本学術会議第 1 回幹事会決定

改正 平成 18 年 2 月 23 日日本学術会議第 9 回幹事会決定

改正 平成 年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定

(要件)

第 1 日本学術会議会則第 34 条に規定する日本学術会議協力学術研究団体は、次の基準を具備する学術研究団体及びそれらの連合体であることを原則とする。

- ① 学術研究の向上発達を図ることを主たる目的とし、かつその目的とする分野における学術研究団体として活動しているものであること。
- ② 個人会員である構成員の数が、100 名以上であること。

第 2 前項の基準の判定に当たっては、関係団体の実情を勘案して行うことができる。

(称号の付与)

第 3 日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与は、次の手続により行うものとする。

- ① 称号の付与を受けようとする団体は、申込書（別表に定める様式）に所要の事項を記入の上、会長あて申し込むものとする。
- ② 日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与の申込みがあったときは、会長は、科学者委員会にその処理を付託するものとする。
- ③ 科学者委員会は、必要に応じ関係各部に諮った上、会長に意見を述べ、会長はこれに基づいて幹事会に諮り決定する。
- ④ 会長は、幹事会の決定を速やかに当該団体に通知する。

(活動)

第 4 日本学術会議は、日本学術会議協力学術研究団体の称号が付与された団体に対して次のことを行うものとする。

- ① 広報刊行物、ニュース・メール等の配布・配信
- ② 選考委員会からの会員及び連携会員の候補者に関する情報の提供の依頼
- ③ 適当と認められる会議の共同開催又は後援

(変更の届出)

第5 日本学術会議協力学術研究団体の称号が付与された団体は、代表者、事務局所在地、連絡先等の変更があった場合は速やかに文書で届け出るものとする。

(称号の取消し)

第6 前項の届出がない等の理由により広報資料等の受取人が不明となった場合は、会長は、幹事会の議を経て当該団体に付与した称号を取り消すことができるものとする。この場合において、会長は、科学者委員会に意見を求めるものとする。

2 会長は、称号の取消しを行った場合は、当該団体に付与した称号を取り消したことを、日本学術会議のホームページに掲載するものとする。

(雑則)

第7 この要綱に定めるもののほか、日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与並びに日本学術会議協力学術研究団体との連携及び協力に当たって必要な事項は、科学者委員会がこれを定める。

附 則

(施行期日)

1 この決定は、決定の日から施行する。

(経過措置)

2 平成17年9月30日において、日本学術会議の広報協力学術団体である団体については、第3の規定にかかわらず、日本学術会議協力学術研究団体の称号の付与を希望した場合には、その称号を付与する。

附 則 (平成18年2月23日日本学術会議第9回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

附 則 (平成 年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定)

この決定は、決定の日から施行する。

別表（第3項関係）

日本学術会議協力学術研究団体申込書

平成 年 月 日

日本学術会議会長 殿

申込団体名

代表者氏名

印

日本学術会議の活動に協力する学術研究団体としての称号の付与を受けたいので、関係書類を添えて下記により申し込みます。

記

1 名 称 和文（ふりがな）

英文

2 代表者（氏名、所属・肩書き、性別）

3 設立年月日

4 個人会員である構成員の数（学部学生を除く。）及び男女の別

連合体の場合は、連合体を構成する団体名及び構成員の数を記入してください。

5 活動状況

（1）機関誌（誌名、創刊年月、発行回数／年、発行部数）

（2）会 合（年次総会、全国学術大会、公開講演会など主な会合名及び開催数／年）

（3）その他

6 連合体への加盟状況

（1）国内（連合体名称、加盟年月日）

（2）国外（連合体名称、加盟年月日）

7 事務所（事務局）

所在地 〒

事務担当者名、電話、FAX、E-mail、ホームページ

※ 貴学会が関係する学問分野は、1～3のいずれに該当するか、○印をご記入ください。（複数可）

また、関係すると思われる分野別委員会（日本学術会議ホームページ参照）を（ ）内にご記入ください。

1) 人文・社会科学

2) 生命科学

3) 理学・工学

（ ）

（ ）

（ ）

添付物 1 会則・約款、設立趣意書、機関誌

2 役員名簿（男女別の情報を含む。）

3 その他活動状況の分かる資料

提出先 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34  
日本学術会議事務局企画課  
日本学術会議協力学術研究団体担当  
電話 (03) 3403-1906

その他 本申込書に記入いただいた内容は、学会の状況に関する統計分析を行うための基礎資料として使用し、分析結果を公表する場合がありますので、ご承知おきください。

|     |    |
|-----|----|
| 19  |    |
| 幹事会 | 21 |

## 提 案

### 日本学術会議協力学術研究団体の指定について

1. 提 案 者 会 長

2. 議 案 日本学術会議協力学術研究団体の審査結果を回答すること

3. 提 案 理 由 日本学術会議協力学術研究団体への新規申し込みのあった団体について、  
科学者委員会の意見に基づき、下記のとおり回答することとしたい。

## 記

- 指定することを適当と認めない  
（申請団体名）  
健康学習学会  
上智大学言語学会

|     |     |
|-----|-----|
| 2 0 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

平成 1 8 年度代表派遣について（平成 1 8 年 9 月分）

- 1 提 案 者     会 長
- 2 議     案     標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由     「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第 19 条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

- 第 1 9 条** 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第 7 に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の 1 か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

| 番号 | 国際会議等                             | 派遣日数               |     | 開催地及び用務地            | 派遣候補者<br>(職名)                                          | 備考                                               |
|----|-----------------------------------|--------------------|-----|---------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
|    |                                   | 会期分                | 計   |                     |                                                        |                                                  |
| 43 | 国際農業工学会(CIGR)2006年総会及び<br>関連会議    | 9月3日<br>～<br>9月7日  | 5 日 | ボン<br>—————<br>ドイツ  | 真木 太一<br><br>第二部会員<br><br>九州大学大学院農学研究院教授               | 農学基礎委員<br>会・生産農学<br>委員会合同<br>CIGR分科会<br><br>第1区分 |
| 45 | 第52回国際純粋・応用生物物理学<br>連合(IUPAB)幹事会議 | 9月9日<br>～<br>9月13日 | 4 日 | オタワ<br>—————<br>カナダ | 永山国昭<br><br>連携会員<br><br>自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンス<br>センター教授 | 基礎生物学委<br>員会IUPAB<br>分科会<br><br>第2区分             |

|     |     |
|-----|-----|
| 2 1 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 平成18年度代表派遣の変更について

1 提案者 会 長

2 議 案 標記について、別紙のとおり変更すること。

3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第21条第2項及び附則第3項の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣実施計画の変更等）

**第21条** 関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画若しくは派遣者の変更をすべき事情が生じた場合は、その理由を付して速やかに会長に通知しなければならない。

2 会長は、前項の規定による通知があった場合は、理由を付して改めて幹事会の承認を得るものとする。ただし、やむを得ない事由により事前に幹事会の承認が得られない場合は、事後に追認を求めるものとする。

## 附 則

3 平成18年度国際学術交流代表派遣実施計画に係る代表派遣については、なお従前の例による。

## 別紙

| 会議名称                       | 派遣期間（会期分）                   | 開催地              | 派遣者               | 変更内容    | 変更理由      |
|----------------------------|-----------------------------|------------------|-------------------|---------|-----------|
| 第26回国際天文学連合（IAU）総会         | 8月14日～25日<br>↓<br>8月13日25日  | プラハ              | 奥田治之              | 派遣期間の変更 | 主催者の都合のため |
| 国際数学連合（IMU）総会及び国際数<br>学者会議 | 8月19日～30日                   | サンチャゴ及びマドリッ<br>ド | 鈴木 貴<br>↓<br>加藤和也 | 派遣者の変更  | 派遣者の都合のため |
| 国際数学連合（IMU）総会及び国際数<br>学者会議 | 8月19日～30日<br>↓<br>8月18日～30日 | サンチャゴ及びマドリッ<br>ド | 柏原正樹              | 派遣期間の変更 | 主催者の都合のため |
| 国際光学委員会（ICO）役員会            | 9月3日～9月4日<br>↓<br>9月4日～9月7日 | サンクトペテルブルク       | 岩田耕一              | 派遣期間の変更 | 主催者の都合のため |
| 国際光学委員会（ICO）役員会            | 9月3日～9月4日<br>↓<br>9月2日～9月7日 | サンクトペテルブルク       | 山口一郎              | 派遣期間の変更 | 主催者の都合のため |

|     |     |
|-----|-----|
| 2 2 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 第13回ウ・タント記念講演の開催について

- 1 提 案 者      会            長
- 2 議    案      標記について、別紙案のとおり開催すること。

※国連大学と日本学術会議との共同主催で開催するものである

## ウ・タント記念講演シリーズ第13回記念講演（案）

1. 日 時 : 平成18年8月25日（金）9:45-11:00
2. 場 所 : 国連大学 ウ・タント国際会議場
3. 講演者 : セイエド・モハンマド・ハタミイラン前大統領
4. テーマ : 未定
5. プログラム（予定）

|             |                                             |
|-------------|---------------------------------------------|
| 9:45-10:00  | 開会挨拶<br>黒川清 日本学術会議会長<br>ハンス・ファン・ヒンケル 国連大学学長 |
| 10:00-10:45 | セイエド・モハンマド・ハタミ 前大統領                         |
| 10:45-11:00 | 質疑応答                                        |

### セイエド・モハンマド・ハタミイラン前大統領 略歴

1943年9月29日生まれ。

#### 学歴・経歴

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 1961      | コム神学校入学                   |
| 1965      | イスファハン大学入学                |
| 1970      | テヘラン大学大学院修士課程入学（教育学修士号取得） |
| 1978      | ドイツ・ハンブルグ イスラム・センター所長     |
| 1982      | イラン・イスラム共和国文化・イスラム指導相     |
| 1992      | イラン・イスラム共和国国立図書館長         |
| 1997-2005 | イラン・イスラム共和国第5代大統領         |

#### （参考）

ウ・タント記念講演は、ウ・タント元国連事務総長（1961-1971）にちなんで名付けられた講演シリーズで、世界各地から各界の有識者や指導者を招き、21世紀に世界が直面する問題の解決に向けて国際的知識と叡智の交流の場として、国連大学、国連大学高等研究所及び日本学術会議との共催により実施している。過去、マハティール・マレーシア首相、クリントン、カーター米大統領、シリ・エバディ氏などのノーベル賞受賞者などが講演を行った。

|     |     |
|-----|-----|
| 2 3 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2 0 0 6

－グローバル・イノベーション・エコシステム－の開催について

- 1 提 案 者      国際委員会委員長
- 2 議 案      標記会議を下記のとおり開催すること

## 記

- (1) 会議名      「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2006  
－グローバル・イノベーション・エコシステム－」  
「International Conference on Science and Technology for Sustainability 2006  
－ Global Innovation Ecosystem －」
- (2) 日 程      平成18年9月8日（金）～9日（土）      （2日間）
- (3) 場 所      国立京都国際会館
- (4) 主 催      日本学術会議（S C J）
- (5) 共 催      経済社会総合研究所（E S R I）、科学技術政策研究所（N I S T E P）、  
科学技術振興機構（J S T）
- (6) 後 援      日本経済団体連合会、関西経済団体連合会、京都商工会議所、  
朝日新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

- (7) 会議概要      日本学術会議は、「持続可能な社会のための科学と技術」をキーワードとして、年に一度国際会議を開催しており、毎回、世界各国から幅広い分野の優れた研究者、各国の学術会議や国際的な科学者コミュニティの参加を得ている。
- 今年の会議は、「グローバル・イノベーション・エコシステム」と題し、様々なイノベーションの中でも特に科学的知識を経済社会的価値に転換するプロセス、いわゆる「科学技術イノベーション」と「持続可能な社会の構築」との関係に焦点を当てて議論を進める。そして、科学技術イノベーションを世界規模で促進させるようなグローバルなエコシステムの構築を可能とするためには、今後どのような取り組みや枠組みが必要となる会議は2日間に亘って行なわれ、持続可能な社会の実現に向けたグローバル・イノベーション・エコシステムの構築に必要な様々な側面からの検証を行ったうえで、密度の濃い議論を踏まえた包括的な政策提言の発出を目指す。
- (8) プログラム      別添1 参照
- (9) 参加者数      300人（含む海外招へい者23人）
- (10) 招待講演者      別添2 参照
- (11) 会議形式      全体会議 Plenary Session      （オープン；収容300名程度）  
分科会      Parallel Session（3）      （オープン；収容60名程度）
- (12) 使用言語      原則、英語。日英同時通訳あり

## 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2006

## ー グローバル・イノベーション・エコシステム ー

日時：2006年9月8日(金)、9日(土)

会場：国立京都国際会館(京都・宝ヶ池)

## プログラム (予定)

9月8日(金) - 第1日目 -

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 9:00  | <b>開会挨拶</b><br><br>黒川 清                      日本学術会議会長                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ルーム A |
| 9:15  | <b>基調講演 A : Global Innovation Ecosystem (地球規模でイノベーションを促進するシステム)</b><br><br>石倉 洋子*                      日本学術会議副会長<br>Nathan Rosenberg              米・スタンフォード大学経済学名誉教授<br>Luke Georghiou                  英・マンチェスター大学人文学部研究担当副学部長<br>Swan Gin Beh                      シンガポール経済開発庁バイオサイエンス局長<br>Ku-Hyun Jung                      サムスン経済研究所所長<br>村田 純一                          京都商工会議所会頭、村田機械株式会社会長<br><br><b>基調講演 B : Innovation Ecosystem</b><br>有本 建男                          経済社会総合研究所総括政策研究官                                                                                                                         | ルーム A |
| 12:00 | 昼食                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | スワン   |
| 13:30 | <b>セッション 1 : Identifying National Innovation Systems -Diversity or Common Challenge?</b><br><b>(ナショナル・イノベーション・システムの比較検討 - 多様性か共通課題か)</b><br><br>馬場 靖憲*                      東京大学先端科学技術研究センター教授<br>Xiangdong Chen                  中・北京航空航天大学教授<br>Diana M. Hicks                  米・ジョージア工科大学公共政策学部教授<br>Maureen McKelvey              スウェーデン・チャルマーズ工科大学技術経営経済学部教授<br>Ca Ngoc Tran                      ベトナム科学技術省国家科学技術政策会議 (NCSTP)事務局長<br>植田 和弘                          京都大学大学院経済学研究科・地球環境学堂教授<br>Hee Yol Yu                          韓国科学技術評価・企画院 (KISTEP)院長<br>17:00 鎗目 雅**                      東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授 | ルーム A |
| 18:00 | レセプション                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | スワン   |

セッションチェアパーソン(\*)      ラポルタール(\*\*)

9月9日(土) - 第2日目 -

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |            |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 9:00  | <p><b>パナレル セッション 2 :</b><br/> <b>Capitalization of Science to Socioeconomic Values - Entrepreneurs and Government</b><br/> <b>(経済社会的価値の創出へ向けたサイエンスの資本化—アントレプレヌールとガバナンス)</b></p> <p>黒田 昌裕* 経済社会総合研究所所長<br/> Jong-Wha Lee 韓・高麗大学国際韓国研究センター所長<br/> 田中 伸男 OECD 科学技術産業局長<br/> 富山 和彦 株式会社産業再生機構代表取締役専務<br/> Feichin Ted Tschang シンガポール経営大学マネジメント学部助教授<br/> Reinhilde C. Veugelers ベルギー・ルーヴェン大学経済経営学部教授<br/> Charles W.Wessner 全米アカデミー技術イノベーション起業家精神部長</p>                                                                                                                                                                           | ルーム I      |
|       | <p><b>パナレル セッション 3 : New Challenges for the Formation and Accumulation of Human Capital</b><br/> <b>(人的資産の形成・集積に向けた新たな挑戦)</b></p> <p>Dominique Foray* スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)教授<br/> Nina Dey Gupta 印・前デリー大学助教授<br/> 原山 優子 東北大学大学院工学研究科教授<br/> Maria J. Rodrigues 欧州委員会社会科学諮問グループ長 (第6次 R&amp;D フレームワークプログラム)<br/> Poh Kam Wong シンガポール国立大学起業家センター長</p>                                                                                                                                                                                                                                                                          | ルーム J      |
| 11:30 | <p><b>パナレル セッション 4 : Creating Innovation Based on Science and Technology</b><br/> <b>(科学技術に基づくイノベーションの創出)</b></p> <p>安井 至* 国連大学副学長<br/> 橋本 和仁 東京大学先端科学技術研究センター所長<br/> Lei Jiang 中国科学院化学研究所教授<br/> 齊藤 元章 米・テラリコン・インコーポレイテッド代表取締役社長<br/> Lennart Stenberg スウェーデン・イノベーションシステム庁シニアアドバイザー (国際協力と政策研究)<br/> 武田 健二 理化学研究所理事<br/> Anura Srikanta Herath** 国連大学シニアアカデミックプログラミングオフィサー</p>                                                                                                                                                                                                                                               | ルーム K      |
| 11:45 | <p><b>ランチセッション</b></p> <p>松田 岩夫 科学技術政策担当大臣<br/> 尾池 和夫 京都大学総長</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | スワン<br>(仮) |
| 13:30 | <p><b>最終セッション : Wrap-up Panel Session (ラップアップ・パネル)</b><br/> How Can We Collaborate to Promote Science-based Innovation for a Sustainable Globe ?<br/> (持続可能な地球の実現に向けてイノベーションを促進するにはお互いどう協力し合えばよいか?)<br/> - Regional advantages and disadvantages (地域の優位性と劣位性)<br/> - Roles of countries (各国の役割)<br/> -What we should do now to make it happen?<br/> (イノベーションの実現に向けて我々は今なにをしなければならないか?)</p> <p>生駒 俊明* 科学技術振興機構研究開発戦略センター長<br/> Luke Georghiou (基調講演より)<br/> Diana M. Hicks (セッション 1 より)<br/> Hee Yol Yu (セッション 1 より)<br/> 黒田 昌裕 (セッション 2 より)<br/> Dominique Foray (セッション 3 より)<br/> 岡山 純子** 科学技術振興機構研究開発戦略センター アソシエイト・フェロー</p> | ルーム A      |
| 16:30 | <p><b>閉会挨拶</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ルーム A      |

セッションチェアパーソン(\*) ラポルタール(\*\*)

# 出席者リスト(予定)

2006 年 7 月 24 日現在

| 名前                     | 職名・所属                                    |
|------------------------|------------------------------------------|
| 有本 建男                  | 経済社会総合研究所総括政策研究官                         |
| 馬場 靖憲                  | 東京大学先端科学技術研究センター教授                       |
| Swan Gin Beh           | シンガポール経済開発庁バイオサイエンス局長                    |
| Brahma Chellaney       | 印・政策研究センター教授                             |
| Xiangdong Chen         | 中・北京航空航天大学教授                             |
| Dominique Foray        | スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)教授                  |
| Luke Georgiou          | 英・マンチェスター大学人文学部研究担当副学部長                  |
| Nina Dey Gupta         | 印・前デリー大学助教授                              |
| 原山 優子                  | 東北大学大学院工学研究科教授                           |
| 橋本 和仁                  | 東京大学先端科学技術研究センター所長                       |
| Diana M. Hicks         | 米・ジョージア工科大学公共政策学部教授                      |
| 生駒 俊明                  | 科学技術振興機構研究開発戦略センター長                      |
| 石倉 洋子                  | 日本学術会議副会長                                |
| Navina Jafa            | 印・歴史学者                                   |
| Lei Jiang              | 中国科学院化学研究所教授                             |
| Ku-Hyun Jung           | サムスン経済研究所所長                              |
| 黒田 昌裕                  | 経済社会総合研究所所長                              |
| 黒川 清                   | 日本学術会議会長                                 |
| Jong-Wha Lee           | 韓・高麗大学国際韓国研究センター所長                       |
| 松田 岩夫                  | 科学技術政策担当大臣                               |
| Maureen McKelvey       | スウェーデン・チャルマーズ工科大学技術経営経済学部教授              |
| 村田 純一                  | 京都商工会議所会頭、村田機械株式会社会長                     |
| 西ヶ廣 渉                  | 日本学術会議事務局長                               |
| 尾池 和夫                  | 京都大学総長                                   |
| Maria J. Rodrigues     | 欧州委員会社会科学諮問グループ長(第 6 次 R&D フレームワークプログラム) |
| Nathan Rosenberg       | 米・スタンフォード大学経済学名誉教授                       |
| 齊藤 元章                  | 米・テラリコンインコーポレイテッド代表取締役社長                 |
| Lennart Stenberg       | スウェーデン・イノベーションシステム庁シニアアドバイザー(国際協力と政策研究)  |
| 武田 健二                  | 理化学研究所理事                                 |
| 田中 伸男                  | OECD 科学技術産業局長                            |
| 富山 和彦                  | 株式会社産業再生機構代表取締役専務                        |
| Ca Ngoc Tran           | ベトナム科学技術省国家科学技術政策会議 (NCSTP) 事務局長         |
| Feichin Ted Tschang    | シンガポール経営大学マネジメント学部助教授                    |
| 柘植 綾夫                  | 総合科学技術会議議員、日本学術会議会員                      |
| 植田 和弘                  | 京都大学大学院経済学研究科・地球環境学堂教授                   |
| Reinhilde C. Veugelers | ベルギー・ルーヴェン大学経済経営学部教授                     |
| Charles W. Wessner     | 全米アカデミー技術イノベーション起業家精神部長                  |
| Poh Kam Wong           | シンガポール国立大学起業家センター長                       |
| 安井 至                   | 国連大学副学長                                  |
| Hee Yol Yu             | 韓国科学技術評価・企画院 (KISTEP) 院長                 |

(ラポルタール)

|                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| Anura Srikantha Herath | 国連大学シニアアカデミックプログラミングオフィサー    |
| 岡山 純子                  | 科学技術振興機構研究開発戦略センターアソシエイトフェロー |
| 鎗目 雅                   | 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授         |

|     |     |
|-----|-----|
| 2 4 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提案

シンポジウム「子どもを元気にする環境とは ―政策の現状と評価―」  
の開催について

1. 提案者 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

## 記

1. 主 催 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会
2. 後 援 こども環境学会、日本医学会、日本医師会、日本衛生学会、日本学校保健学会、日本環境教育学会、日本看護科学学会、日本看護系学会協議会、日本建築学会、日本公衆衛生学会、日本行動医学会、日本子ども社会学会、日本産業衛生学会、日本小児科医会、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児看護学会、日本心身医学会、日本ストレス学会、日本造園学会、日本体育学会、日本体力医学会、日本都市計画学会、日本乳幼児教育学会、日本発達心理学会、日本病院会、日本保育園保健協議会、日本保育学会、日本野外教育学会（予定）
3. 日 時 平成18年9月4日（月） 10：00～17：00
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 趣旨

日本の将来を担うべき次世代の活力が大きく低下していると危惧される今日、日本学術会議として、人文科学、生命科学、理工学の各分野を横断する総合的視点より、政府に対し健全かつ創造力豊かな次世代育成のための国家戦略的な政策の確立に向けた提言をすべきと考えられます。そのため、本課題別委

員会では、子どもの活力低下の要因について分析し、活性化のための基本方策を取りまとめるべく審議を進めています。このシンポジウムは、子どもの活力増進と深く関わる主要な行政領域の政策の現状と課題を評価し、子どもを元気にする環境のあり方について論議を深めることを目的とするものです。

## 6. プログラム

総合司会：石川 幹子（日本学術会議会員、慶応義塾大学教授）

（1）開会挨拶：仙田 満（日本学術会議会員、東京工業大学名誉教授）

（2）開催趣旨：石川 幹子（同 上）

（3）基調講演：黒川 清（日本学術会議会長）  
（休憩・昼食 1 時間 20 分）

### （4）シンポジウム

司会：進士五十八（日本学術会議会員、東京農業大学教授）

趣旨説明：進士五十八（同 上）

講演：仙田 満（同 上）

秋田喜代美（日本学術会議会員、東京大学大学院教授）

小林 寛道（日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院客員教授）

無藤 隆（日本学術会議連携会員、白梅学園大学学長）

鴨下 重彦（日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授）  
（休憩 15 分）

講演 政策よりみた子どもの元気と環境（仮題）（講演者は調整中）

内閣府（調整中）

文部科学省（近藤 信司 文部科学審議官）

厚生労働省（辻 哲夫 厚生労働審議官）

国土交通省（鬼頭 平三 技術統括官）

環境省（炭谷 茂 事務次官）

兵庫県（井戸 敏三 兵庫県知事）

（休憩 5 分）

討論 ～政策の現状と評価～

総括：進士五十八（同 上）

（5）閉会挨拶：加賀谷淳子（日本学術会議会員、日本女子体育大学客員教授）

|     |     |
|-----|-----|
| 2 5 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

「第14回かがわけん科学体験フェスティバル」の開催について

1. 提案者 科学と社会委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議科学と社会委員会科学力増進分科会、科学体験フェスティバル実行委員会、香川大学、(財)四国産業・技術振興センター、(財)日本科学技術振興財団・科学技術館（予定）
- 2 共 催 香川県、(財)かがわ産業支援財団（予定）
- 3 後 援 香川県教育委員会、高松市教育委員会、香川県小学校教育研究会理科部会、香川県中学校教育研究会理科部会および技術・家庭科部会、香川県高等学校教育研究会理化部会、生地部会および工業部会、四国経済連合会（予定）ほか
- 4 協 賛 四国電力株式会社高松支店（予定）
- 5 日 時 平成18年11月11日(土)～12日(日) 10:00～16:00
- 6 会 場 香川大学教育学部体育館・武道場  
(高松市幸町1番地1号)
- 7 次 第

主として香川県内の児童生徒の、科学や技術に対する関心を高めるとともに、様々な自然体験を通して、人間としての成長を図ることを目的に開催する科学体験行事である。

香川県下の理科教育に係わる先生方を中心に、県、教育委員会、大学、産業界の支援と協力によって、実行する県の年中行事として定着している。

開催挨拶 日本学術会議科学と社会委員会科学力増進分科会委員

|     |     |
|-----|-----|
| 2 6 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 国内会議の後援等について

- 1 提 案 者      会      長
- 2 議      案      後援等の依頼について回答すること。
- 3 提案理由      下記の会議について、後援等の依頼があり、関係する部等に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。  
                                 なお、依頼のあった行事等の概要は別紙のとおりである。

### 記

#### ○ 後援する

| 名      称      等                                                                                                   | 申    請    者       | 審議付託先      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|------------|
| イノベーション・ジャパン2006－大学<br>見本市<br>① 主催：科学技術振興機構、NEDO技術<br>開発機構<br>② 会期：平成18年9月13日～15日<br>③ 場所：東京国際フォーラム               | 日経BP社<br>代表取締役社長  | 各部         |
| 第47回大気環境学会年会<br>① 主催：社団法人 大気環境学会<br>② 会期：平成18年9月20～22日<br>③ 場所：東京大学本郷キャンパス                                        | 社団法人 大気環境学<br>会会長 | 第二部<br>第三部 |
| 平成18年度衝撃波シンポジウム<br>① 主催：衝撃波研究会、宇宙航空研究開発<br>機構宇宙科学研究本部、東北大学流<br>体科学研究所<br>① 会期：平成19年3月15～17日<br>③ 場所：九州大学筑紫地区総合研究棟 | 衝撃波研究会会長          | 第三部        |

|                                                                                                                      |                                    |     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----|
| 第5回教育シンポジウム<br>「21世紀の理科教育—これからの理科100年に向けて—」<br>① 主催：社団法人 応用物理学会<br>② 会期：平成18年10月28日<br>③ 場所：東京大学駒場キャンパス              | 社団法人応用物理学会<br>会長                   | 各部  |
| 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 50周年記念大会<br>① 主催：特定非営利活動法人 日本歯周病学会<br>② 会期：平成19年9月21, 22日<br>③ 場所：東京国際フォーラム                        | 特定非営利活動法人<br>日本歯周病学会準備委員長          | 第二部 |
| 国連大学／ユネスコ国際会議「グローバリゼーション—科学技術の課題と可能性」<br>① 主催：国際連合大学、ユネスコ<br>② 会期：平成18年8月23, 24日<br>③ 場所：パシフィコ横浜・会議センター              | 国際連合大学高等研究所所長                      | 各部  |
| 第8回日本感性工学会年次大会<br>① 主催：日本感性工学会<br>② 会期：平成18年9月13～15日<br>③ 場所：早稲田大学西早稲田キャンパス                                          | 日本感性工学会会長<br>第8回日本感性工学会<br>大会実行委員長 | 第三部 |
| 次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム2006<br>① 主催：独立行政法人 理化学研究所<br>② 会期：平成18年9月19～20日<br>③ 場所：MY PLAZA HALL、MY PLAZA 会議室（明治安田生命ビル） | 独立行政法人 理化学<br>研究所理事長               | 第三部 |

○ 協賛する

| 名 称 等                                                                      | 申 請 者            | 審議付託先 |
|----------------------------------------------------------------------------|------------------|-------|
| 「機械の日・機械週間」制定記念式典<br>① 主催：社団法人 日本機学会<br>② 会期：平成18年8月7日<br>③ 場所：東京大学本郷キャンパス | 社団法人 日本機学会<br>会長 | 第三部   |

## 後援を希望する国内会議の概要

- |   |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会議名称     | イノベーション・ジャパン 2006－大学見本市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 2 | 主 催      | 科学技術振興機構、NEDO技術開発機構                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 3 | 後援（予定）   | 内閣府、日本学術会議、工業所有権情報・研修館、知的財産戦略本部、日本経済新聞社、テレビ東京                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 4 | 共 催      | 経済産業省、文部科学省、日経BP社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5 | 会 期      | 平成18年9月13日（水）～15日（金）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 6 | 場 所      | 東京国際フォーラム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7 | 会議の性格と目的 | <p>大学発の最新技術シーズを展示する「大学ゾーン」をはじめ、「TLOゾーン」や「大学発ベンチャーゾーン」、証券会社・ベンチャーキャピタルなどによる「大学発ベンチャー支援ゾーン」を配置。会期前の準備期間から、Web上のマッチングシステムを稼動することによって、来場者からのシーズ検索や問い合わせを可能にし、マッチングを促進する。また、セミナー会場では、大学研究者が自ら技術シーズを解説する「新技術説明会」、産学連携を実践する経営トップによる基調講演や、大学発ベンチャーのIPO実現に向けた経営セミナー、共催者企画セミナーなどで構成する「イノベーション・ジャパンフォーラム」を同時に開催。産学連携の実情を浮き彫りにするとともに、その問題点解決に向けた様々なセッションを展開する。全国にある大学の優れた知財を一望できる「イノベーション・ジャパン 2006－大学見本市」の開催により、技術移転、新産業創造をさらに加速することを目指す。</p> |
| 8 | 会議計画の概要  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|   | ①議事次第    | （略）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|   | ②参加人員    | 約3万人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|   | ③予 算     | 約1800万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|   | ④役員（代表）  | 日経BP社 代表取締役社長 大輝精一                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|   | ⑤連絡責任者   | イノベーション・ジャパン 2006 事務局長 担当：新村直子                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

(東京都千代田区平河町 2 - 7 - 1 塩崎ビル 7 階)

Tel : 03-5210-7120、fax : 03-5210-7038

⑥ 広 報

日経ビジネス（全国）、日経ベンチャー（同）、日経エレクトロニクス（同）、日経マイクロデバイス（同）、日経バイオビジネス（同）など日経 B P 社発刊ビジネス雑誌、技術専門誌、日本経済新聞（同）、日経産業新聞（同）

⑦ 事故防止対策等

会場防火管理者の指導のもと、災害の未然防止と来場者の安全確保を最優先とし、すべての関係者に対し、防火・防災・安全確保のための会場管理の徹底を指導する。

⑧ 定 款

(略)

## 後援を希望する国内会議の概要

- 1 会議名称 第47回大気環境学会年会
- 2 主 催 社団法人 大気環境学会
- 3 後 援（予定） 日本学術会議、環境省、全国知事会、全国市長会、環境協会
- 4 会 期 平成18年9月20日（水）～22日（金）
- 5 場 所 東京大学 本郷キャンパス工学部2号館
- 6 会議の性格と目的 大学、研究機関、自治体等の研究者にて組織される大気環境学会の年次大会で、大気環境の調査、改善、研究等に関する研究発表、特別講演、シンポジウム及び学会定時総会の開催。この年会の成果は大気環境研究の推進に寄与するばかりでなく、大気環境の保全についても貢献することを目的とする。
- 7 会議計画の概要
  - ①議事次第 (略)
  - ②参加人員 約800名
  - ③予 算 約1300万円
  - ④役 員（代表） 社団法人 大気環境学会  
会 長 笠原 三紀夫
  - ⑤連絡責任者 森 正樹（事務局長）  
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル  
TEL03-3341-5632 FAX03-3341-8224
  - ⑥広報の媒体等 ホームページへの掲載等
  - ⑦事故防止対策 会場の設備は完備しており通常の管理規定に従う。また、会場内各部所に職員を適切に配置するなど、主催者は使用に際し万全を払う。
  - ⑧定 款 (略)

## 後援を希望する国内会議の概要

- 1 会議名称 平成18年度衝撃波シンポジウム
- 2 主催 衝撃波研究会、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、  
東北大学流体科学研究所
- 3 後援（予定） 日本学術会議
- 4 協賛 日本機械学会、日本航空宇宙学会、応用物理学会、日本流体力学会、  
火薬学会、日本生体医工学会、日本高圧力学会、可視化情報学会
- 5 会期 平成19年3月15日～17日
- 6 場所 九州大学筑紫地区総合研究棟
- 7 会議の性格と目的 衝撃波現象及び衝撃波が関連する諸現象について、基礎と応用の  
両面から広く学際的に研究発表し、口頭及びポスターによる発表と  
討論により当該分野の進展を図る。
- 8 会議計画の概要
  - ①議事次第 (略)
  - ②参加人員 220名
  - ③予算 169万円
  - ④役員（代表） 衝撃波研究会会長 高山 和喜（東北大学流体科学研究所）  
平成18年度衝撃波シンポジウム実行委員会委員長  
青木 俊之（九州大学大学院総合理工学研究院）
  - ⑤連絡責任者 東北大学流体科学研究所 平成18年衝撃波シンポジウム事務局  
〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1  
TEL 092-583-7588
  - ⑥広報 ニュースレター（衝撃波研究会発行電子メールニュース）及び各協  
賛学会誌への掲載により、全国的に広報を行う。
  - ⑦事故防止対策等 九州大学大学院理工学研究院の対策に従って行う。
  - ⑧定款 (略)

## 後援を希望する国内会議の概要

- 1 会議名称 第5回教育シンポジウム  
「21世紀の理科教育—これからの理科100年に向けて—」
- 2 主 催 社団法人 応用物理学会
- 3 後援（予定） 日本学術会議、文部科学省、日本経済新聞社、日本物理学会、日本化学会、電気学会、電子情報通信学会、照明学会、情報処理学会、日本物理教育学会、日本工学会、日本生化学会をはじめ全24団体
- 4 会 期 平成18年10月28日（土）
- 5 場 所 東京大学駒場キャンパス
- 6 会議の性格と目的 本シンポジウムは、小学校、中学校、高等学校から文部科学省に至る教育関係者、マスコミ各方面から講師を迎え、これからの理科100年に向けて、理科教育のあり方を討論する。例えば、物理の基本法則をよく理解することにより、身の回りの現象を解釈したり、問題を解いたりすることが出来るという体験を通じて、青少年に物理は大変面白い学問であることをわかってもらうための方策、あるいは高校、大学などで教育する側の立場に立って“日本の理科教育を明るくするには、私だったら何ができるか？”、“よくわかる理科の実践”など教育論について講演及び討論をすることを目的とする。
- 7 会議計画の概要
  - ①議事次第 (略)
  - ②参加人員 約150名
  - ③予 算 約100万円
  - ④役 員（代表） 社団法人応用物理学会会長 尾浦 憲治郎
  - ⑤連絡責任者 兵庫県立大学 大学院工学研究科教授 小野田 光宣  
〒671-2280 兵庫県姫路市書写 2167  
Tel：072-67-4860
  - ⑥広 報 広報ポスター、パンフレット、関係学会誌にて全国に広報、宣伝を行う。
  - ⑦事故防止策等 会場の規定に従う
  - ⑧定 款 (略)

## 後援を希望する国内会議の概要

- |   |          |                                                                                                                                                              |
|---|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会 議 名 称  | 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 50 周年記念大会                                                                                                                                  |
| 2 | 主 催      | 特定非営利活動法人 日本歯周病学会                                                                                                                                            |
| 3 | 後援（予定）   | 日本学術会議                                                                                                                                                       |
| 4 | 会 期      | 平成 1 9 年 9 月 2 1、2 2 日                                                                                                                                       |
| 5 | 場 所      | 東京国際フォーラム                                                                                                                                                    |
| 6 | 会議の性格と目的 | 「歯周病学から国民健康科学への提言」をメインテーマとして、日本歯周病学会に関わってこられた臨床家や研究者及び市民の方々が参集し、歯周病学及び歯周病治療学の視野にたった様々な研究成果を通じてこれまでの 50 年を総括し、親睦交流を図ると共に、将来の日本歯周病学会の進歩、発展を展望するにふさわしい大集会を開催する。 |
| 7 | 会議計画の概要  |                                                                                                                                                              |
|   | ①議事次第    | (略)                                                                                                                                                          |
|   | ②参加人員    | 約 1 5 0 0 名                                                                                                                                                  |
|   | ③予 算     | 約 4 0 0 0 万円                                                                                                                                                 |
|   | ④役 員（代表） | 特定非営利活動法人 日本歯周病学会 50 周年記念大会<br>準備委員長 渋川 義宏                                                                                                                   |
|   | ⑤連 絡     | 〒261-8502 千葉県美浜区真砂 1-2-2<br>東京歯科大学歯周病学講座内<br>TEL：043-270-3953 FAX：043-270-3955                                                                               |
|   | ⑥広 報     | 広報の主媒体：HP 上の掲示、<br>日本歯周学会会誌及びポスター掲示                                                                                                                          |
|   | ⑦事故防止対策等 | 大会会場の利用規定に準拠する。                                                                                                                                              |
|   | ⑧定 款     | (略)                                                                                                                                                          |

## 後援を希望する国内会議の概要

- |   |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会 議 名 称  | 国連大学／ユネスコ国際会議「グローバリゼーション－科学技術の課題と可能性」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 2 | 主 催      | 国際連合大学、ユネスコ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3 | 後援（予定）   | 内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、環境省、日本学術会議、横浜市、横浜国立大学、横浜市立大学、2008年横浜サミット誘致推進協議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4 | 共催（予定）   | 国連大学高等研究所、(財)ユネスコ・アジア文化センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 5 | 会 期      | 平成 18 年 8 月 23 - 24 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 6 | 場 所      | パシフィコ横浜・会議センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 7 | 会議の性格と目的 | この会議は、国際連合大学がユネスコと共同で開催する国際会議であり、科学技術と経済・社会の発展、知識の共有、貿易と技術移転、社会と政策決定、教育との関係、さらに科学技術がこれらに対しどのように貢献するのかについて議論を行うことを 目的としています。開催 1 日目（8 月 23 日）には、公開シンポジウムとして、基調講演及びパネルディスカッションを行います。また、2 日目（8 月 24 日）は 4 つの分科会に分かれ、ワークショップを開催します。会議では、科学技術の変化しつつある役割を考える中で、知識へのアクセスと便益の享有、知的財産権の保護の領域、科学的探究の倫理的な限界などの主要な問題を取り上げます。そして、これらの議論を通じ、グローバリゼーションの過程を全ての人のための知識の創造とその普及のために活用する知識社会の在り方を明らかにすることを目指すものです。 |
| 8 | 会議計画の概要  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|   | ①議事次第    | (略)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|   | ②参加人員    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|   | ③予 算     | 約 1700 万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|   | ④役 員（代表） | 国連大学／ユネスコ国際会議<br>国際連合大学高等研究所所長 A. H. ザクリ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|   | ⑤連絡責任者   | 連大学高等研究所プログラムアソシエート 河盛 敦子<br>〒220-8502 横浜市西区みなとみらい 1-1-1<br>TEL : 045-221-2306                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|   | ⑥広 報     | 媒 体：ウェブサイト、ポスター等 対象地域：全国                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|   | ⑦事故防止対策等 | 会場の規定に準拠する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|   | ⑧定 款     | (略)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

## 後援を希望する国内会議の概要

- 1 会議名称 第8回日本感性工学会大会
- 2 主 催 日本感性工学会
- 3 後援（予定） 日本学術会議
- 4 会 期 平成18年9月13日（水）～15日（金）
- 5 場 所 早稲田大学西早稲田キャンパス
- 6 会議の性格と目的 日本は明治維新や文明開化により古い日本的なものから西洋的ものを指向し「和洋折衷」などで消化してしまった。ところが昨今の日本は拝金主義がはびこり、マネーゲームの主役であった人物の逮捕や耐震構造強度偽装問題など、日本の感性やものづくりの精神がないがしろにされているように思われる。一方美白化粧品のように、日本の消費者の厳しい要求と感性にマッチした商品がアジアや世界で受け入れられることも現れ始めた。「感性に訴えるものづくり」のための感性工学に関する実践的で、活発な議論の場を形成して頂きたい。
- 7 会議計画の概要
  - ①議事次第 (略)
  - ②参加人員 約500名
  - ③予 算 (未定)
  - ④役 員（代表）日本感性工学会会長 原田 昭  
第8回日本感性工学会大会実行委員長 長沢 伸也
  - ⑤連絡責任者 同上  
TEL 03-3666-8000
  - ⑥広報の媒体等 学会員を主として、日本及び国内
  - ⑦事故防止対策 大会会場の利用規定に準拠する。
  - ⑧定 款 (略)

## 後援を希望する国内会議の概要

- |   |          |                                                                                                                                                                                     |
|---|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会 議 名 称  | 次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム 2006                                                                                                                                                        |
| 2 | 主 催      | 独立行政法人 理化学研究所                                                                                                                                                                       |
| 3 | 後援（予定）   | 経済産業省、内閣府、日本学術会議、日本経済団体連合会、電子情報技術産業協会、情報処理学会、可視化情報学会、日本計算工学会、日本シミュレーション学会、NAREGI、戦略的革新シミュレーションソフトウェアの研究開発プロジェクト、物質・材料研究機構、分子科学研究所、宇宙航空研究開発機構、海洋研究開発機構、日本原子力研究開発機構、防災科学研究所、産業技術総合研究所 |
| 4 | 共 催      | 文部科学省、国立情報学研究所                                                                                                                                                                      |
| 5 | 会 期      | 平成18年9月19日～20日                                                                                                                                                                      |
| 6 | 場 所      | MY PLAZA HALL 及び MY PLAZA 会議室                                                                                                                                                       |
| 7 | 会議の性格と目的 | 次世代スーパーコンピュータ及びそのアプリケーションの開発及び利用と我が国のスーパーコンピューティング技術の将来について、人材育成から産業応用まで幅広い視点で議論し、次世代スーパーコンピュータプロジェクトの実施に資するとともに、スーパーコンピューティング技術の有用性を広くアピールする。                                      |
| 8 | 会議計画の概要  |                                                                                                                                                                                     |
|   | ①議事次第    | (略)                                                                                                                                                                                 |
|   | ②参加人員    | 300名                                                                                                                                                                                |
|   | ③予 算     | 1.23万円                                                                                                                                                                              |
|   | ④役員（代表）  | 独立行政法人 理化学研究所理事長 野依 良治                                                                                                                                                              |
|   | ⑤連絡責任者   | 同上                                                                                                                                                                                  |
|   |          | 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館6F<br>TEL 048-467-9265                                                                                                                               |
|   | ⑥広 報     | ポスター、パンフレット、インターネット、関係雑誌により全国的に広報・宣伝を行う。                                                                                                                                            |
|   | ⑦事故防止対策等 | 大会会場の利用規程に準拠するとともに、事故防止に備え会場内に適切に係員を配置する。                                                                                                                                           |
|   | ⑧定 款     | (略)                                                                                                                                                                                 |

## 協賛を希望する国内会議の概要

- 1 会議等名称 「機会の日・機械週間」制定記念式典
- 2 主 催 社団法人 日本機械学会
- 3 協 賛（予定） 日本学術会議
- 4 会 期 平成18年8月7日
- 5 場 所 東京大学 本郷キャンパス
- 6 会議等の性格と目的 技術・技術者の将来ビジョンやロードマップを構築してその健全な発展を促す、技術者・研究者の役割に対して社会の一層の理解を涵養する、若者層や女性の参加を積極的に促し次世代の優れた技術者の育成を支援する、国際的な学術交流・技術交流の促進に寄与することなどを「機械の日」、「機械週間」の制定のねらいとしている。
- 7 会議計画の概要
  - ①議事次第 (略)
  - ②参加人員 ー
  - ③予 算 ー
  - ④役 員（代表） 社団法人 日本機械学会  
会 長 笠木 伸英
  - ⑤連絡責任者 同上  
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階  
TEL03-5360-3500 FAX03-5360-3508
  - ⑥広報の媒体等 ホームページへの掲載等
  - ⑦事故防止対策 会場の設備は完備しており通常の管理規定に従う。また、会場内各部所に職員を適切に配置するなど、主催者は使用に際し万全を払う。
  - ⑧定 款 (略)

|     |     |
|-----|-----|
| 2 7 |     |
| 幹事会 | 2 1 |

## 提 案

### 国際会議の後援について

1 提 案 者 会 長

2 議 案 国際会議を後援すること。

3 提案理由 下記の国際会議について後援の申請があり、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第38条に基づき、国際委員会（主催等検討分科会）において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。  
 なお、国際会議の概要は、別紙のとおりである。

## 記

「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム」第3回年次総会

後援を希望する国際会議の概要

|                       |                                                                                                                    |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 の 名 称             | 和文：科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム<br>第3回年次総会<br>英文：Science and Technology in Society <i>forum</i><br>Third Annual Meeting   |
| 開 催 時 期               | 平成18年9月10日～12日（3日間）                                                                                                |
| 開 催 場 所               | 京都市（国立京都国際会館）                                                                                                      |
| 主 催 団 体               | 特定非営利活動法人 STSフォーラム                                                                                                 |
| 後 援 団 体<br>（予定）       | 内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、<br>（社）日本経済団体連合会 ほか                                                                            |
| 共 催 団 体               | 和文：社団法人 科学技術国際交流センター<br>英文：Japan International Science and Technology<br>Exchange Center                           |
| 参加予定者数<br>〔参加予定国〕     | 国外700人、国内300人、計1000人<br>〔100ヶ国・地域〕                                                                                 |
| 会 議 内 容               | 全体会議及び分科会、議論総括                                                                                                     |
| 会 議 議 事 録 等           | 報告書作成・配布予定                                                                                                         |
| 開催経費の財源<br><br>〔募金団体〕 | 会費 70,000 千円<br>寄付金・助成金 170,000<br>スポンサー 60,000<br>国等からの拠出 98,400<br>参加費 30,000<br>計 410,650<br>特定非営利活動法人 STSフォーラム |
| 申 請 者                 | 特定非営利活動法人 STSフォーラム                                                                                                 |
| 連 絡 責 任 者             | 特定非営利活動法人 STSフォーラム<br>総務担当 金子 恵美                                                                                   |

### 次回以降の日程について

#### (1) 幹事会

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| ① 第22回幹事会 | 平成18年 8月24日 (木) 14:00から |
| ② 第23回幹事会 | 平成18年 9月21日 (木) 14:00から |
| ③ 第24回幹事会 | 平成18年10月 2日 (月) 17:30から |
| ④ 第25回幹事会 | 平成18年10月 3日 (火) 12:00から |
| ⑤ 第26回幹事会 | 平成18年10月 4日 (水) 16:00から |
| ⑥ 第27回幹事会 | 平成18年10月26日 (木) 14:00から |
| ⑦ 第28回幹事会 | 平成18年11月22日 (水) 14:00から |
| ⑧ 第29回幹事会 | 平成18年12月21日 (木) 14:00から |
| ⑨ 第30回幹事会 | 平成19年 1月25日 (木) 14:00から |
| ⑩ 第31回幹事会 | 平成19年 2月22日 (木) 14:00から |
| ⑪ 第32回幹事会 | 平成19年 3月22日 (木) 14:00から |
| ⑫ 第33回幹事会 | 平成19年 4月 9日 (月) 総会終了後   |
| ⑬ 第34回幹事会 | 平成19年 4月10日 (火) 総会終了後   |
| ⑭ 第35回幹事会 | 平成19年 4月11日 (水) 委員会終了後  |

#### (2) 連合部会・部会

- ① 平成18年10月 2日 (月)、 3日 (火)
- ② 平成19年 2月13日 (火)

#### (3) 総 会

- ① 平成18年10月 2日 (月) から 4日 (水) まで [秋の定例総会]
- ② 平成19年 4月 9日 (月) から11日 (水) まで [春の定例総会]

## 日本学術会議における今後の予定

| 時期  | 総会・幹事会                                                                                                                            | 会長・副会長                                                                                                                                                                                        | 部                              | 企画委員会                                                       | 選考委員会                      | 科学者委員会                                                                                                                           | 科学と社会委員会                                                                                                                         | 国際委員会                                                                                                                                                                                | 国際委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 課題別委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 地区会議                                                        | その他                                                      |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 7月  | 5日13:30～<br>第2回会長候補<br>者推薦委員会                                                                                                     | 9日（予定） 共<br>同主催③ 2006年<br>世界政治学会・福<br>岡大会（福岡）<br>開会式<br><br>24日（予定） 共<br>同主催④ 第19回<br>国際鉱物学会議<br>（神戸）開会式<br><br>24日（予定） 共<br>同主催⑤ 第25回<br>天然物化学国際会<br>議・第5回生物多<br>様性国際会議（京<br>都）開会式           | 20日10:00～<br>第5回 第三部拡大<br>役員会  | 25日16:00～<br>第8回企画委員<br>会                                   | 5日10:00～<br>第11回選考委員<br>会  | 26日16:00～<br>第11回広報分科<br>会<br><br>3日13:00～15:00<br>第7回科学者委員<br>会<br><br>8日11:00～12:00<br>学術とジェン<br>ダー委員会と男<br>女共同参画分科<br>会の合同委員会 | 26日16:00～<br>第11回広報分科<br>会<br><br>3日13:00～15:00<br>第7回科学者委員<br>会<br><br>8日11:00～12:00<br>学術とジェン<br>ダー委員会と男<br>女共同参画分科<br>会の合同委員会 | 26日16:00～<br>第11回広報分科<br>会<br><br>3日13:00～15:00<br>第7回科学者委員<br>会<br><br>8日11:00～12:00<br>学術とジェン<br>ダー委員会と男<br>女共同参画分科<br>会の合同委員会                                                     | 3日15:00～17:00 第2回 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 基礎社会の実現分科会（特任連携会員の紹介 等）<br>4日10:00～12:00 第1回 生産農学委員会 農学教育分科会（分科会委員長の決定について等）<br>5日10:00～12:00 第1回 健康・生活科学委員会 生活科学分科会（分科会委員長及び副委員長の選任について等）<br>17:00～19:00 第1回 臨床医学委員会 脳とこころ分科会（委員長、副委員長、幹事の決定等）<br>7日10:00～12:00 第5回 健康・生活科学委員会（健康・生活科学関連分科会の活動状況について等）<br>13:00～15:00 第1回 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同 パブリックヘルス分科会（分科会委員長及び副委員長の選任について等）<br>15:30～17:30 第1回 健康・生活科学委員会 高齢者の健康分科会（分科会委員長及び副委員長の選任について等）<br>12日10:00～12:00 第5回 農学基礎委員会・第6回 生産農学委員会 合同委員会（シンポジウムについて 等）<br>13日 8:40～10:00 第6回 農学基礎委員会・第6回 生産農学委員会 合同委員会（シンポジウムについて 等）<br>14日11:00～12:00 第1回 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IGBP・WCRP合同分科会 MAHASRI（モンスーンアジア水気候研究計画）<br>小委員会（委員長の選出について 等）<br>19日17:00～18:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・合同 植物科学分科会（分科会委員長の選任について 等）<br>20日10:00～13:00 第2回 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP 合同分科会（IGBP、WCRPの国内での連携について等）<br>13:00～15:00 第1回 物理学委員会・地球惑星科学委員会・化学委員会・総合工学委員会・基礎生物学委員会・応用生物学委員会委員会合同 基礎科学の大型計画のあり方と推進方策検討分科会（委員長及び幹事の選出について 等）<br>16:00～17:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 海洋生物分科会（分科会委員長の選任について 等）<br>21日12:30～13:50 第3回 農学基礎委員会・生産農学委員会合同 C I G R分科会（C I G R分科会に関する経過報告 等）<br>10:00～12:00 第1回 土壌学・建築学委員会 国土と環境分科会（委員長、幹事の選出 等）<br>24日10:00～11:00 第1回 基礎医学委員会 病原体学分科会（委員長、副委員長の選任について 等）<br>11:00～12:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・農学基礎委員会合同 総合微生物科学分科会（委員長副委員長の選任について 等）<br>16:00～17:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 細胞生物学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>17:30～20:30 第5回 情報学委員会・第1回 情報学委員会 情報学推進分科会 合同委員会（最近の経過報告・二次連携会員 等）<br>3日 10:00～12:00 第2回 電気電子工学委員会 URS I 分科会（URS I 分科会の構成について 等）<br>6日 13:00～16:00 第7回 科学と社会委員会 科学力増進分科会（シンポジウムについて 等）<br>7日 15:00～17:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・基礎医学委員会合同 分子生物学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>8日 16:00～18:00 第4回 土壌学・建築学委員会 拡大役員会（分科会について 等）<br>9日 10:00～12:00 第1回 基礎医学委員会 分子医科学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>22日 16:00～18:00 第1回 臨床医学委員会 終末期医療分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等） | 8日11:00～12:00 第1回 学術とジェンダー委員会と男女共同参画分科会の合同委員会（公開講演会について 等）<br>14日15:00～17:00 第1回 科学者コミュニティと知の統合委員会 役員会（本委員会の検討事項について等）<br>14日15:30～17:30 第2回 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会 災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会（災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方について 等）<br>18日14:00～16:30 第2回 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会 災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会（今村委員からの話題提供 等）<br>21日13:00～15:00 第1回 臨床医学委員会 障害者との共生分科会（委員長、副委員長等の選任について等）<br>24日10:00～12:00 第2回 科学者コミュニティと知の統合委員会（本委員会の検討事項について 等）<br>10:00～12:00 第4回 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会（教員養成・免許制度の在り方について 等）<br>25日15:00～17:00 第6回 学術とジェンダー委員会（本委員会の報告書について等）<br>26日16:30～18:30 第2回 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会 拡大役員会（各分科会からの報告 等） |                                                             | 7月8日12:30～17:30<br>公開講演会<br>「身体・性差・ジェンダー——生物学とジェンダー学の会話」 |
| 8月  | 24日14:00～<br>第19回幹事会                                                                                                              | 5～9日（予定）<br>日本・モンゴル二<br>国間学術交流派遣<br>（モンゴル）<br><br>21日（予定） 共<br>同主催⑥ 第17回<br>磁性国際会議（京<br>都）開会式<br><br>28日（予定） 共<br>同主催⑦ 2006年<br>国際サイコセラ<br>ピー会議イン・<br>ジャパン及び第3<br>回アジア国際サイ<br>コセラピー会議<br>（新宿） | 30日13:00～<br>第3回年次報告<br>等検討分科会 |                                                             |                            |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  | 5～9日（予定）<br>日本・モンゴル二<br>国間学術交流派<br>遣（モンゴル）<br><br>20日～ 共同主<br>催⑧ 第17回磁<br>性国際会議（京<br>都）<br><br>28日～ 共同主<br>催⑨ 2006年国<br>際サイコセラ<br>ピー会議イン・<br>ジャパン及び第<br>3回アジア国際<br>サイコセラピー<br>会議（新宿） | 1日 16:00～17:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 細胞生物学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>17:30～20:30 第5回 情報学委員会・第1回 情報学委員会 情報学推進分科会 合同委員会（最近の経過報告・二次連携会員 等）<br>3日 10:00～12:00 第2回 電気電子工学委員会 URS I 分科会（URS I 分科会の構成について 等）<br>6日 13:00～16:00 第7回 科学と社会委員会 科学力増進分科会（シンポジウムについて 等）<br>7日 15:00～17:00 第1回 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・基礎医学委員会合同 分子生物学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>8日 16:00～18:00 第4回 土壌学・建築学委員会 拡大役員会（分科会について 等）<br>9日 10:00～12:00 第1回 基礎医学委員会 分子医科学分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）<br>22日 16:00～18:00 第1回 臨床医学委員会 終末期医療分科会（委員長、副委員長、幹事の選出について 等）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 4日 13:00～17:00 第4回 学術・芸術資料保全体制検討委員会（意見聴取（図書館関係等）等）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                             |                                                          |
| 9月  | 21日14:00～<br>第20回幹事会                                                                                                              | 6日（予定） 共<br>同主催⑧ 第16回<br>国際顕微鏡学会議<br>（札幌）記念式典<br><br>10日 黒川会長任<br>期満了                                                                                                                         |                                | 4日14:00～<br>第13回選考委員<br>会<br><br>25日14:00～<br>第14回選考委員<br>会 | 27日15:00～<br>第12回広報分科<br>会 |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  | 3日～ 共同主<br>催⑧ 第16回国<br>際顕微鏡学会議<br>（札幌）<br>8-9日 持続可<br>能な社会のため<br>の科学と技術に<br>関する国際会議<br>2006-イノベー<br>ション・エコ・<br>システム（京                                                                | 1日10:00～12:00 第1回 基礎医学委員会 神経科学分科会（委員長、副委員長、幹事の決定について 等）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | P課題別委員会（科学者の行動規範）の報告（予定）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2日 中国・<br>四国地区会<br>議、科学者<br>との懇談会、<br>学術講演会<br>（高知工科大<br>学） | 8日、9日 持<br>続可能会議（京<br>都）                                 |
| 10月 | 2日～4日<br>第149回総会<br><br>2日（総会終了後）<br>第21回幹事会<br><br>3日（総会終了後）<br>第22回幹事会<br><br>4日（委員会終了後）<br>第23回幹事会<br><br>26日14:00～<br>第24回幹事会 |                                                                                                                                                                                               |                                |                                                             |                            |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  | （秋の定例総会時）<br>第5回国際委員会                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | （秋の定例総会時）<br>代表<br>幹事会                                      |                                                          |
| 11月 | 22日14:00～<br>第25回幹事会                                                                                                              |                                                                                                                                                                                               |                                |                                                             |                            | 8日18:00～21:00<br>第13回広報分科<br>会                                                                                                   |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 17日 中部地<br>区会議、科学<br>者との懇談<br>会、学術講演<br>会（三重大<br>学）         |                                                          |
| 12月 | 21日14:00～<br>第26回幹事会                                                                                                              |                                                                                                                                                                                               |                                |                                                             |                            | 13日18:00～<br>第14回広報分科<br>会                                                                                                       |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                             |                                                          |